上所規制支倉通第一日は林竹務局一千後四時まで本所第・館題家に開

貿易の統制、駐湖特惠

比年確平たる後度の步を進め、然るに一面隣接。南州地の間情は

けふから本府に開かる

歐洲南要部進出の緒口となる「最はなり

意向を有し、歐洲平和はそれのみをもつて維持し得るこの確信を、西歐區間の4和保險第元成立の集合は78リー政府は獨伊提携を一層現代する

含む大詞の協定成立に一郷は努力する。

産業を主催勢力とする人民職権運動はであると降べられる。しかして中國共 於ける人民職線の組織修立に大衆の態 前の如きも根本的に態更し以て支那に 連動の飛翔作成功に鑑みその職略、

當の効果を收めつゝあることは、時局

供せらるよやう御留意を願ひたは細大となく常島施設の参考に共の割査し得たる資料施に意見

宇垣總督及び田中局長の趣言方 京域般、平北道の曾謹に出席、先づ伊藤本府繁務課長は十二日 即院採在工作に窓出す決惑と解される、ヘフソリーニ資理は日下鑑賞中の探盗競行よりローマに顕殖でと大國に中がかけると同時にドナウ螺定機小闆園諸國を打つて一丸とするヨーロッパ平和機構の登记の題であるがイタリー政府はこれを第一世として、獨、墺、伊三國の詫解を悲靡に英、郷、渡、蘇(安)、「政府は新たに成立した獨集協定をはてイタリー外交の勝利として大領(ローサ十二日間盟)イタリー政府は新たに成立した獨集協定をはてイタリー外交の勝利として大領

全欧洲を熊慄せしめるに足る重大監明を謎すると降へられる、獨塊新協定を称機とするイタリー

線復活を目的どするロカルノ條約國會議にイタリー政府は参加を的を失り無識の存在となった、從つてドイツの参加なく且つストレーザ戦のを実の無難の存在となった、從つてドイツの参加なく且つストレーザ戦がよるの目

換が行けれた、シニシニニタク首「の搬通側に震脉を加へるに至つた「組織することを聴きで主義すると、と記られる夕暇社との間に歌方に現献はの交」し中南ヨーロッパを貫く合統派號 に続いずた月下がロカルノ節節を るほ勿滅ことれーストリア首担シニシユニタ により「國交正常化の協定を締結」としては併園園園配暦の主義知何 しにおける

|旅立に||熊一十二日ヒワトラー綿紙||がムッソリー=伊育街の居中調停||縦を破れ||てるるがフランス||欧府(ベルリン十二日同四]| 海漿線定||(ベリ十三日同盟]| 海峡県奥跡所||のでフランス||欧府首剛部は||熊重豊|

祝電を交換獨墺兩巨頭

歐洲の政局 日間の融融を均進し従って一 かオーストリア、ドイー敬意を表し同時に本

> 「リアナ」日同盟 "ルー政府は 月廿六日大統領令を公布し在留

> > あたが、

> > 疑惑になると手のつけら

やつたりしてゐるの 既と思つて、心能の都合をつけて 家へも掲載に来るので、おれも不 だ。そんな事から、何かとおれの

に、それを、

新發

賣

急性・慢性・個人用

分さ

佛國、抗議に出てん

優異新協定によりてオーストリアの領の新動向は左の方針に基くと解される

ロカルノ資産不参加について厳重

移民制 小協商資の参加なも殴り右接際

河和田の平次(七)

吉川英

作

(18)

村耕

花

知れの苦労をしてゐるお吉さん

更に歸化禁止令公布 は脅しにすぎまいと人々は思って して、お吉を選る。元より、撃 聞る、据る。そして整をふりか

に今後外國人の回信を一切燃止人り各受員と政府側との間に型達に今後外國人の回信を一切燃止、 入り各受員と政府側との間に型と、 等内壁組より内外國人各國各一萬六千人と決定し まつ盟出資組より報令案細幹翻案 丁原宗迪り承認を見る模様である。警舎を重ねた、十三日中に宏藤袋 将宮田路 吉に話して表行ってよっては、「おか、お」をかしい方へ派を題の相、次田注制局長官その他闘しれない平文郎の事だし、何か、お」をかしい方へ派を題 本府部令(十一日的) でもある様子なので、適りの治は 飛んで来た仲間の大工の一人だつ 吉に断して嫉妬らしいものを含んしお吉さんとが、妙ない 「おいッ、兄冊、何をばかな詩似

縮えぢゃわえか、手を離しゃが

の治療力を揮び顕著の深苦を一田も早く解消する気めですから常質顕著の深苦を一田も早く解消する気

誇るべき治療の特長

協思度の目的は從來より一層階級低級に本際獨特

立たわえ やうに云はれちや、

おれる、男

かでともあら して、おれと

普及藥

一門九〇

命激道局無防禦動務 た。うしるから平次郎に組みつい

「お、わかつたよ」

「わかつたかい、今の話は一

るは勿論一路製造の途を辿るもの 留化壁止令の結果在留那人のベル 現在ベルー 在間の日本人は二萬

二千人に 遊する かなは動吸血に する首大統領令を以て公布した

副零事 大和田福富

と、駆を持つてゐる利言腕をね

「女舅の事あ、歌主の一伝だ。他

してくれるだ

時間

の今日の事も

用量

---- (小指頭大の巻)でよし

人のさしづはいらざる世話おやね

「雌しわた」

南級道事務として入社、引つとなほ言永武揚氏は近く設立の平域建設道事務所長 祁 內爾 瓦治 おあげた。

愛國運動の形式で民衆獲得

中國共産党の専門

即うそのス

軍の如きも努めて抗日ついある一方、中國共

5 努めて抗日牧方、中國共産

副参加命令山縣長 記 記

フラージする 戦術の下に

大衆獲得のために 運動し 國革命聯合軍の中 にカム

から脱却して最近においい時間立一の如き 公式論明時間立一の如き 公式論明を表示論の「中國ソヴェート 政府の「中國ソヴェート 政府の

の樹立』を全 面に押出しては『抗日愛 國國防政府から脱却して最 近におい

報にも最大なる影響を及ぼすものとしつというのととは全後のわが慰文歌

て、その成行は脳部方面から脳心を持

愛國運動の かたちをどり

鮮電紙入り一層を確認では、京都に

)相高共三郎氏 (同事務官) 同上 「誰でもねる、和介だよ」 「離だっ、邪能するな」

天地支黃

右に鉱いて十三日田中野が局長は 各方面から非常に期待されてゐる 蔵に出席することは初めて試みて 各談長、車務館が夫々各当門長館

欧洲の雰囲気を明明ならしむ 一部セッ、新生

ちゃ、お音さんがかあいさらだ! 雅徳してゐるつてえ事だが、それ 「なに、和介だと」 声さんと、弦な事でもあるやうに

> 経してもらひてえ場にやった事。 て、お苦さんとおめえと、伸よくて漢まねえが、これも、どうかし

これいふのは抑も顕弦かも知れる女――何でおれがそんな感謝な んな演繹があつたって、真女のおまれずるものか。よし交におれにそ は、離される。なる程、おれはお おめえといふ歴乎とした事主のあ一不能な誰でもながすやうな事があ ていで、そいつがわからねえうち い。……それに、こくはたよの心臓を立てないで着しておくんなさ に依る大事な御造器の場所一

な是所へ、両一

の歌風を期するため本府警務局で 半島の展別光質と國際スパイ取締

愈よ七月末日から

るためだとあつて、蜀児新聞定

は本年度から豫第三十八萬回で全

に無確認語を増設することになり

れが心情をするめてゐたがいよ 合質感部に外導係を新設、さら

七月末日から歌風、各追に新

| 所の外部

野感情

で気に

よって

学派官の

大異動

を行ふ

とになった

国が

配置

なった

のが

のが

で近く

これに

作ふ

が原拠した、展壊したからと

ぬが、陰正所は當人同士のやう

従兄妹同士の結婚がで、かれ

に明明ではあり得ない、駅ろ戦

緊急刺令案審議

樞府第一回委員會

お吉さんの真様たいしい事や、 同じ大工仲間ではあつたが弟弟

た。 して関かせたので、さずが理解ななった。 過ぎへ浮かめて、 配々と説 平次郎も、やく落着いて、 でちゃあ、観器して な事はしわえから難せつていふの くれるか」 もう手能

の早く家へ殴つが、今日のとこ ってしまった。 いと、平次即 やがれ

泣き變せてるる。 そこへ持つて来

用法 でょし回 二分間 安全體易

密心研究の顕悟が歴で歌組した起始法にして始めて きを脆弱するもので、その比較時時で指るのは、特 術術の根据たる病院を破壊し腰壁を取く力が順る頭 れば一時的に急性に戻し治療を容易にする程度膨力 石配の掘く使れた特長にて湘海を短目時に治療する 解消災館補收飲力と開配服力な保行性機関力とを、 照く、され金融界の求めて止まぬ深行性態盛力能も 本剤の主力薬プラオン駅は、これを慢生症に使用す

被 明 創 製 市東京吉原遊師

見る効果で、殺菌力だ

+

識される極少量の使用 で充分効果あるは、一 然であります。然も総 既比較にならぬのは皆

けの従来の治験とは野

朝に配住民際観性時に へ、聴跳駅作用なく明 **炎等の危険を安全に動** 盛して、路腰脚側睾丸 殿不快爆戦な局所築 (推入、麻郷) と至く相

本から治院が出來ます 使期の病苦なき迄に根 戦争の類倒で最大効果

単に迷ふ能感染患者は見込みかたの慢性患者 関力背無の内服薬や固 本期の如き最少悪質で 長らく使用して全治の 形挿入座栗や注入栗を 世界的に實践された殺

ン オ ラ ブ

気な説似を一 の兄弟子、そ ふとほりだっ

焼卵に効果的中する治 金銭の抵失は明かです **民生の聲びなく熨芯な** 務頭を使用せれば一生

代用薬ナシ 日東製薬合名自動製品プラネンギンケンジー水と特に荷担菜デオい

人用)あり、御註文の際は御期記を乞ふ。往窓一覧號(急性用)、弧號(慢性用)、霧號(紀 東京市芝區通新町十三番地

八〇萬人(約25日至)十 円五〇瓦人(約25日至)七 円金三五瓦人(約25日至)七 円

文献進呈 全翻楽店にて服餐す品印の前は直接網代理店へ 口東部繁命如衛草副品 数代理店 给给河原商店 電話三田 (一六八六番



次の階間を申に入つた、なほ明日 水に午前の日在を終り休憩直もに がオブザーヴアとして出席がオブザーヴアとして出席 仁川の斉枚陽長――内地から大大河原を山、吉岡新発州、小田 諮問事項___

の機會を得ましたことは子の放りまして、所復の一端を除ぶる故に殷關長會議を開催するに當

なり来つたのでありますが、現なり来つたのでありますが、現まで表情がたる地位を占め、市を軒内にがては、各種の質能なる大規模工業の効果を生物等の関外は長は金本明別なる難測を不している。

出入貿易割は質に十二億一千歳昭和十年中に於ける朝鮮の職務

国を突破し米 代有の鑑 進を告げまして之を三年前の昭和七年中の質赦 と比較し約 倍加するに至つたのでありますが、違は時の私工業の効果は山油村の最時の命工業の効果は山油村の最高間の続減交通が緊急の便を加

課長等を派遣

・ では、 できない。 で

管は十三日午後一時より優秀院事 大器金融令系譜所第一回議会委員に東京市語】資命治安に職する重

在上班配管長、政府側上5億H 大、鑑出、清水、上山各委員、 本、鑑出、清水、上山各委員、 本、鑑出、清水、上山各委員、

第一線警官を激勵

思ひ出も新に

訪る空中

丁子屋から寄附

の成績 明水湖釣會

明六時より明師、参加各代表語学 第一回明水が射め東セは十二日午

百国で購入したものであるが、丁 百餘回、極路将品難與を入れて五

◆零加省 寺田、黄藤、併原、徳 野、神石、 保殿神に改館した ◆零加省 寺田、黄藤、併原、徳 野、神石、 東北、石垣、中町、 井上、 佐藤、 関・中ゴ、 松明、石垣、 東北、 金 町 金 別宮、 松原、石垣、 永北、 金 町 の、 東北、 石 田、 南本 1 田、 藤井、 井上(正) 嶺山、 田 1 田、 藤井、 井上(正) 嶺山、 田 1 田、 藤井、 井上(正) 嶺山、 田 1 ト人方がへ百品の披奥式を終

○人質者左の並《大物質】等信例と器にすべての希望をつないであた。古市、柳川、松田 即法主任のもとに大学の一新を記しを行って背水の陣を布き時本新 直しを行つた、今後は血のれの発動する行った、今後は血のれの発 更造に上つて陣谷の根本的立て直

> 日核から留置してゐる大學町居住 特疑者の取調べに重點を置き十二 を認知されるのでこれを打切り、

医西印度料理う核素









天龍ながり

が、時日の統治するに従って困難の二人を厳重組及するとともに

悉肚な決心で協力强盗捜査

10 日本 10

テック帳がヒゲリコガキニナリマシタ。

カナモジ会。

タベテ ーツブ

京城德为

| 「開発版事談|| 十二日 | (実列、京城 | 機設調べた結果意外た事質が関明 | 機設調べた結果意外た事質が関明 | の続遠に彫むしてあるのを乗用版 |

京城日報

T.々たる店舗を構へ 長血では北鮮

境界に切に対込んであた

三二外支非人内容三名多國籍取問

上流で排除中海死した、側回 軟式都市對抗

能能に守病の中風を治療中で ||山文(本名橋尾龍治県)は線准町 【東京電話】歌舞伎界の長老市用

イングル 0200020

ナモ大使編編

イケダ小兒內科病院

豐富なお湯和洋の設備 海と山の眺め **海雲台溫泉** (釜山郊外) 川 器

t PE

東京日本勧業銀行構內

店支城京社會券證業勧本日 **亚烈烈亚美国西西亚西** ○ ラ大名美宝海皇主においたを公立で産品表代電社 別 高空分**之**异企企 AAAAAAETTT SESESESESESESE

ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン ファイナマン

た関防國策上にも大切な民間航空一用であり、その選作費も値かに三般も近代的なスポーツとして、ま一の初歩南空神器程度の基本的練費

田を投じて後郊グライダー一機の十三日朝突然、四匹柴部に干五百 識させた、現在使用してゐるグラ るが、この側節グライダー匹宗郎一行飛行等も可能となる路で、匹銀 せ略くの人々に深い蹠鍵を興く登しずーで、これによつてほじめて、日から半島に初めて解佚な姿を見し子磨が治附の機能は本格的グライ 新版を申込んでは常部の人々を改 イダーはほんとうの練習用であつ 丁三日朝突然、同門髪耶に干五首 したなほこの諸文を早雑征城総数の総念を見て草城丁子屋自毘底は一部では莪んで斐頭することに決定 のスリルにあこがれを値つけでる | 今日内地で盛んに行はれてゐる鬼 し題作を明始、九月中旬には完成指導中の新師の則田建一氏に依頼 行機によるグライダー曳行飛行で

羽鮮軍参謀長を市計委員に囑託 都可を建設 各防空演習の結果を基礎

> 心脈がに因んで動脈温度と名付けてからずつと の景勝の地を昨夏第。国の脚その間上である

北鮮万面から参加資料はその地の本业支配が元山 齊員 人園三十六錢咸興 奈園

京城の会員一四個五〇錢(但し南部) 統置をかけて致しますが智昌からは一部を資

道局、新

學務

お花畑と胡水をめぐる景勝、珍しい植物と

(するに要する費用よりずつと安くてす・服用化の館費は、あなたが都原で二週間

世委政に遊応し時至方面の完整をめざしてゐるが、風都ではこの職一方似は截次酰處都市から新典都市に向つて統にせしめるはずであるの悲歌や儒を然へつくあり、木庵では特に褒錦承参撰長を市供地能一方似は截次酰處都市から新典都市において行つた的完成者の結果を連ぶを登録することになった。なほこのの悲歌を徹を放ってある。木庵では特にの錦承の諸典を主く「市奥快を加へ」を重談し一昨年来各主製部市において行つた的完成者の結果を基本日本の図承として産業司総・重主業の総典等ます()市奥快を加へ」を重談し一昨年来各主製部市において行つた的完成者の結果を基本

飲酒中の製にのすつた場が銀行し町二時半切下独一自町敷ます方で

後事 食事材料はキャンブ地の地報由批出場 (表) 会」 食事材料はキャンブ地の地報由批出場 は可な自動人自由に対策を記上げますが一日の費用 は主意以内になってあます、又対等不動れの は主意以内になってあます、又対等不動れの がは主動以内になってあます、又対等不動れの 方には過去を担けになってあます。 のでは、 が のでは、 のでは、

人團體心脈

は非常な腹ひを見せなは事人は既一界の資庫として発音本の検討を日

指してゐるもので注目されてゐる

器版中目點一ノ八二二の自宅に 後十一時極格心で熱液健果見市

南 | 資性の量 役には望 南の風の大田には

張に見とられつつ永版した享年七 しなつえ天人龍に高子八百丈夫 つたが十二日午後五時低に容無

一道機は生的歴依原かつた日連

応層北 南く る所もない 海 海 南野の風 が寝のか

中五線の少年を頭目にした廿二名 の場解あって閉門終って掲げ小型 御が、京原が代前八十一版 別係では十二日午後南大門市場で、世帯改飾魔技術或終式に残り、時 は十二日 位官城孝徳町二二二 延着別係では十二日午後南大門市場で、サゲ北を終った 暴行加へて 十二名の 1十二日夜京城孝俐町二二三延青 一味發覺

港に集る失業者

内地渡航が出來す へと弊害そこに生る

内地に続き。当を求めて終始する。第一て統統許可を取った。指は十萬八千 したが上陸田来でに舞り吹つた者。十九日本が御歌紀に撃るでも異國。名か十、日、天主等師範。百名か、起記された者は、三内百人、進館、踏跡時代の経路を貼る月晩で来る。日人様、大窓間田師範囲、記入十続したものは教大千人で、専則に、となりこれら失寒者の数視が無と、生験鏡では正郷中級団十名に「十、統したものは教大千人で、専則に、となりこれら失寒者の数視が無と、生験鏡では正郷中級団十名に「十、統したものは教大千人で、専則に から質別の唇状の月を説回化し給一點、除物製・医質別の三春が一般 一緒人來鮮す るを知る等での時に思山、参山、屋水の各地「宇を示してゐる、そこで本作時間 「冷崩崩却提光配十六名等・寒気が 人、即師したは三萬人であった、

等十五別年組念及等別問或其十十

吹つかは歌り倒した指句無統物へ「月初記以来内地記在脳腔の来解と」説がにほくくくの西で独認に大電 に依るといい。 となっているが、現在を重要された総質品では、七一様に著しい説似である外人閣盟の となってもるが、現在までの申込でいばとしまって終る意味が感覚 更に續々と殺到す

等の中重なる外人問題はグランド イスクール女教は融十五名が廿八 **運約** | 行名、總計六十三階四 | 于

を見せた、當日の成績左の如し(水温廿六既)

世界制覇は確實

ンピックプールで擧行

日人城、疾父史觀光殿十三名、千 上つて来た。この日日米自由恐で

加町の野野型金貨団が一種人参特階

アセモに

自己の持つ記録を二砂短縮し百米

版替完城:九七·電話本局四0五四京城府南大門 逼二丁目二十八



70

京城府阳山町一丁自

晋近傳染兩病 .. 完備

京成北米倉町九四 踏調館主整調汽工工作 城 婦人病院 醫學 敬 信家 婚子 敬信 医科姆人科学 医甲士 松本泰治

本 券 番 付此段議告仕候也 京城料理屋組合付此段議告仕候也

夏

の公休

江中の岭間に出か多敗東崎つてる

用をなさなくなり水燃に著しく鍵 れる片端しから掘り返して制水の

東海州原頭に

一人り同夜海州民家にそれら、間経了、地上部家は午間三時海 職機二機を職遇し午前十一時

法律上からは如何に自作をする

利組合長爭興節、裝信都光律水利

忠流水利組合長白製役、同相市水

停主住となり副やを開始、同牧事「僻壁を提出するとに決定、貮川部(出たので去る六日宮内牧事が踊」民は今回代表籍をして總質府に陳

豪壯の繪卷展開

空陸攻防の激戦に

たのでなるはこれが取

本語の行方に増を起し配着大田。とそ別数し級重取調べの結果が外、出版が近に収容された月下切ごか、ほと照してみると女媧の既だけが、異常側の行方に増を起し配着大田。とその数目、を取り出来が、出版が近に収容されて月下切ごか、にてはヤッタたと早遠大果食の大石神となり大月二十五月析」にも大田が町実際砂重設品の実行、月の肥別をすまして出別するや常、さらんと輝くて監ぎ捨てゝあるのの皆日の行方に増を起し配着している。 の手は伸び大塚可は主記の手では、有利を載きこれが近金鯛 足のため、高陸の部曲からボーイ二人の即然の大石神となり大月二十五月析」にも大田が町実際砂重設品が実行、月の肥別をすまして出別するや常、さらんと輝くて監ぎ捨てゝあるのの皆になり、またりを引いていると、まにしば、これが行うといる。

【大田】大郎の実金嶼西の金塊二 | 行同所治盤町旅館楽上遊憩三郎(* | 杉逝は昨夏金塊船輪翻建して新載

や女の姿がなく、ヘッドライトで 思ひ他を一週りして女をおろした

水利他といふからい。ア雄別だし

惚れてもいく程の美麗でした。歌を踏んに唱ってゐましたよ

頑固な地主

江原道。曾官異動

ところまで状てみると附近には早 かとうも女の様子がおかしいぞと 後の朝鮮美人を降して帰りかけた

と を認別したもの、以下連続手位器 の ら渡てられたのを誤観して天皇行

金塊密輸團の内幕

公田署で四名を檢舉送局

援制議主任、班山城事新義所に急「選撃され直に施務所に収容したが、端の上本年一月から四月に直り各「記、引題げてみるとは當水に呑ん墜撃」でして戦撃。三十日には大「いよ四名とも十八大」「臨事分局に「いつしか甘言に元命されて遂に攻」側のなが水麓に浮んでゐるのを襲

鰻取りで水流圧ふ

制水蛇籠を引つ繰り返し

平壤土木出張所困却の態

日、同せ九日、六月十一日の三回金融大の事領の方面して五月十八

L目り耐土地の半分は従来までの|

境界をなす三番川田屋一番は様年

数、堀、家グニ

專賣所沾

のみ、しらみ、南京虫等害虫を このイチゲキで即刻退行あれく

のそして寄りが たまらなく

【新義州】『北西川、磯宮南郡の

地元民陳信

出た、よって耐要は砂では新地主

血は報感が小作委员践に副的を申 人はこの発動観察の小作する土地「る所小作組的も電影館の観解地り【演教】部風部内に居住する金襴」して欲しいと懇願、三箇月除に亘

麥紙—堤 餌佐子

1

品質斯民語一

カンサイ八イトリ紙

カンザイ蝿取リボン

三ヶ月の争議も-

|鶴の|聲でケリ

「満州」報恩が内に居住する金町

自作する目的で購入し早迎小作

国語解決を告げた

三橋川改修

であつた野野江倫船公司のプロス 行成水し九日新想玻璃岩の像定

新華州」北部一帯の早紀から期一では一日郡守以下勝政一間馬頭山一業珍野宗、勢力行馬の長い罪名で

に配り一連復立て飽つて北北た雨

統督支臨機事分局今最極事の手許

女幼兄殺し

北鮮の旱魃から鴨緑江減水

プロペラ船立往生

成等それで、政団に起した の貧皮器を翻述・脚金、科料、町一十枚を銀質に大十六枚六十八人 の一層協議を行つたが、永川郡の

鼠暴妓生

お客を殴り 鼓膜を破る

各署衛生班を特別して階架站作者 | がら馬頭になつて押へつけたため

では元文を機験放翻べ中

黄海道各地を荒し

今度は戦寧に出没

も早魃異愛

の破悪の時が現實に迫つてきた今、雁成は再びこの記趣を破消して服める師して破悪の異合単顕からの微物水極感を記載されてゐるが、ここの天本が既けば軍大なことになり郷まる郷報は不好なものばかりでのの歌本を托してゐる非岸水もこの數月米限立つて破水しあと十月も

水源の他下伏流水増水が一日六百世除に観じ打磨く型天に仰厥破を辿す相総らず一日給水量一千百屯削後を往来してゐる。これに對し第二 みであつたが上水道は二時間の短脳により一直电前後の面水しか出来

で、これに思する不安もあり理に脳外に動を戦するも折角拡た層は枯安にかられてゐるが例年の総則によれば歴は正に思院は既即であるの

選する三百里乃至五百里位の水でどうしてこの盛夏を切り扱けるか不

毛の背空氏、自帯自飛露人の五階と触つて智見でも自由行動をとら を受たまと一ヶ月あまりも登山に 龍鶴行きは全然危険と判明、さり

せることになったが、最初の計型

【平塩】ますく、排除を極める平一に押法に燃機事の取調べがあった

警官や顔負け

自轉車を盗んでは賣り

全鮮の一周旅行

四十歳より五十歳前後に來る、頃儒四十歳より五十歳前後に來せなかとうの時に不以降の更年期

取調べの警察官も呆れてゐる。

中等野球の西

【美山】長さ三門足二寸の小型説 | 橋へてゐたが、上海總領別館から | ら海の漫步者 | 行は瞬つて行った

の回答により危殿な連中ではない

平壌の赤痢

いよく猖獗

門、日脈に掘らず直ちに駆事女局

月經痛愛年期降码

女性的斡慢を保持す。 を恢復に導き、エネルギを特通し、 を恢復に導き、エネルギを特通し、 ないの症状

海南男(この日間空取のため犯人

の本郷地岸里県へ出巡中であった

船で上海から登山へやつてきた紅

残としてその麒麟をふるふこと

常となる平南郷道館町の駅が取る局に翻送を提出したが氏は近く

協氏は過去二十百餘年の思田宗 動を的にして平路等形所長吉永 | 平理|| 近く行はれる際貿易の大

勇敢な海の

懐中無一文で壯途は空し

ラニト選校を印刷して道内に配付 様なので近隣生誌では豊野民間と ど出してゐるが、なほご生する節 真に七十三名、うち十名の死亡者

(成明等道是) (成明等道是)

是さへあれば を、毒蛇、南京島

横領府廳員

南浦へ押送

結局ョットを買り拂つて

元の古巢へ逆戻り

吉永平鐵所長 半南鐵道入り

出磁退氏である

「住後氏は城市際国事形所是大和一

十二日午前七時二十分二ろ勝内本。されて頭部を過去、翩翩他前の重調三丁目で三中弁島頭所見李殿書。観ら生紀高麗

自動車に衝突(釜山)極山に満突、自凝型管共順力流は

大名の新川高を出し現在戦略して脚層の赤町は九日に七名、十日に

見が退くことになり十日上城

足で落果が多く、高い塩断の維持やアカシヤさへも枯死しさらであり死に激し、栗もこのま、十月も単天が置けば苗死を恐れず林楠も水不 三和町メソチスト政館では十五日間公ひ所職関を関すことになり、

山水上型から米やら新まで既つてとて機御芝は神戸へ行くには、籤

るる程の始末、無一文でどうにも

ならず、結局薬つて収た小舟を野

拂つて上海へまた送り戻されるこ

【翻層庫】去る十日からの四時間給水脈行により相當節水し得る見込

者さは募り節水の宣傳も効かす

日間の餘

鎭南浦府民の不安加はる

在上水と井戸水で一日二十三四百円を消費しつ

り第一水源貯水は発に一萬电を削つて十二日朝九王中副となつた、一

罂粟密作 六十八名を

佰屋の主人や

安州、北京、京總を登頭し帯域、各は前級の水道環域、東清極な人、中海県域の東原東峡を押するため、安州、地方も関す

態に入り物級江の城水による流役|心に財政に関心してゐる 能は概念なからも今年は著し

水道破壊の

「振をかこつて木材界に大きな暗」

シストップを食つたといよ頭様に /船は果興財史で運動不能に落入

(水) の角度を膨出するに至った、総つて | た切りで御利益なく、いよくく早 | た病人のみを残し他の七名に登跡 | 訪れ、留守資をしてやるから | なりて具然とせしら東に称り気に、処理に動るが及は強と | た耳の間をが思った。後つて | た切りで御利益なく、いよくく早 | た病人のみを残し他の七名に登跡 | 訪れ、留守資をしてみた長女学順の放戦を衝襲。 左耳の間立むなく。現状に叛闘する実践と問うなよの意思を形出するに至った。総つて | た切りで御利益なく、いよくく早 | た病人のみを残し他の七名に登跡 | 訪れ、留守資をしてやるから | なりて具然とせしら東に称り気に | と明明、市場でも建設と同の大説的、現態を形出するに至った。総つて | た切りで御利益なく、いよくく早 | た病人のみを残し他の七名に登跡 | 訪れ、留守資をしてやるから | なりて具然とせしら東に称り気に | と明明、市場でも変している。 と、嫌がるのを無例に所称をしな一により何れも去る十日既和人りと一てゐる

| 図りを行ひ、翌|| 殿屋里も三日七|| で殿車取鸛へを受けてゐたが、十|| 「秦田 十|| 日午風十|| 時間養山 || 正郷上野田 || 五世 || 大田 || 日本 | 【定性】城内河渠約頭店の妓生歌 てゐること聲朝判明し其伽〈風け

教徒の現金一個八十銭を得取され は山口女教養の根抽斗から臨時間 人日の望むが終入して、小原校は一色原面の金塊を散回三直つて譲飛して観響」小型校及び小頭技に去る一曲から金塊を買い無め七畳除、十二個響」小型校及び小頭技に去る一曲から金塊を買い無め七畳除、十 (時間二十四位)公前役では鬼理 た金である。

とゝなつた、十・日午後水上窓の 【年期】十一日午後三階館附内発展走でヨットを選録にした増切州 林里泉辺自敬単店に懇勤不能な男団で牧の駅の内地人特達系が買取 が掘れ自転乱・躍を関却せんと十つたので針長キリシェンコ買以下 るのを大師製成が選起、本製に連ったので針長キリシェンコ買以下 るのを大師製成が選起、本製に連 四名の帯年迷り双手をあげてオー

行取調べたところ大郎府七里町野 が は 型合抽製化十一日午後一時から府 選合抽製化十一日午後一時から府 選合行せれズの如く決定した 今第一日 二十二日)▲午助九 鮮豫選組合せ

習(B)(本試行のみは繊維語

悲戀の女給入水し

向ふに着いても相手の姿が見え、 かしたら旧はないのですからそ、 のまる別起したんですが、どう のまる別起したんですが、どう が表だったんです。他様が関因で たが、一さらい、ばれの中で が大だったんです。他様が関因で とが、一さらい、ばれの中で を変えるだか、ころいてが、はなり になったんです。他様が関因で とが、一つでは、の中で が大がったんです。他様が、関因で とが、一つでは、の中で が大がったんです。他様が、関因で とが、とう。

漁組技手の

キミ等の豪華船「映畫ファン」八月號の船出! の夏!涼風をはらんて進む、進む!

かねぜえ OHAN

運轉手六處で救る

甲七栗人女闘の入水自殺が未逸に「てあるので大倉きで自分の耶に栗【大郎】 辿ちゃんの大塚は事に的「であるが騰遠もあり微かに基もし

利外線城水利他的以で三十番タ シー巡回手金器単行か二十歳間

府内上西町飲食点輪小館の女品番店米一館を取りとめたかこの女は

十二日十四日時中

全長生病院に駆び込んだ、手當の

公金橫領

所の必手牌川及でいて組合の公金 一千九百国を横綱でいて組合の公金 これ他はし去る九日口護教験器に とか続せし去る九日口護教験器に

花柳章太郎と鈴木澄子 一部 中田勘彌と坂東好太郎 一周 中田勘彌と坂東好太郎 一周

水道の條節の心細さ と二十日、士宝百、 疫病流行とあつて 執行を待つやらな上 十日と台かも死刑の 「韓原期」 用庭家

に損なのとりこ

関西ハイトリ級製造合名會試

カンサイパイトリ戦闘元

使用壓便



「星州」まる八日午後前沿町地路 観暴な電気社員

のて世界不遇の言葉を手上記さし、外に調査・間を設すして普遍し苦。眼響:繋が左中より態景が訪せた。 で言語形式を記録したが見れる程、後七時食料大陸引撃の下に急が返。時から不断関係から飛来した態態 のでは、田夕野から十日にかけて昭。の多数が関節能力十編名は十日午。分れての攻防機論数を行ひ午野十 のでは、田夕野から十日にかけて昭。の多数が関節能力十編名は十日午。分れての攻防機論数を行ひ午野十 のでは、田夕野から十日にかけて昭。の多数が関節にあれての攻防機論数を行ひ午野十

参観者手に汗握る

空間の大阪ひを属した、飼液州での一貫人の側部者が設定した。 政における公認が認識語には流州を減せ

主も登に平身低頭して委員館に配か」ときめつけられ流石の廊断地 か、それとも受質度の動解に促ぶ と説明、題に「おは不知決に使つ

といつても小作権を取上げるこ
「特を考慮して中分だけを見作さ」
「特を考慮して中分だけを見作さ」
「もると職群に努めてゐるが法律」
「ではこれを認める際にはいかな」 なり九月前義治郡、京城に向つた組合長金製飯の三氏は原常委員と

「日本州」 意新著では印紙総合の別は 地でを内手型地に高速し口が必要合う。 が次の十七日より中四日まで発食 が次の十七日より中四日まで発食 が変わりません。 定辨署印紙檢查

芳香馥郁

花盛の節季

の自然を表 現するもの

を除いては

熱い週で洗ひ、洗ひ終るにつれて すぎてもいけません、はじめ担當 ことです、過ばあつすぎてもぬる

次第に密をねるくしておしま

で洗りのが確認です

たところ自然の石山唱出孔から非 他の出さらなところを試施してる アゼルパイヤンのケルグエズで石

....大石油型出孔

部門家も語言ました。石油は一日

形な高さに石油を噴き上げたのに

八千帳の割合で出るのです

したい中型・流

こと、ことに頭の地肌をよく洗ふす、必ずあとを十分に洗いおとす

訣融の髪洗

とは純良な常見利を取るることで ついて何よりも注意すべきこ

おばなりません。 経路に 野は よく 跳を 洗は

れたホテル

る一升入りの大盃。これを吞めば

る、同時に、左手より、

一名の武士の首はコロリと落ち

必要である。魚は一般響通には眼

中華の脱版を未然に助くことが「内臓の部にかて特に動だしくなる」。要は特に離魚の極定を注意し「臭き臭気が生じ来り、標準内交は

うになる(水産試験所接触木村金

所から常生虫を競技し大いに近野から常生虫を競技し大、それは小され間原虫の様なものが明いてあます。 やしかゆいだけで期に異常ありません、 音振方法を御校ぶ下さい

【間】 一今年二十一鼓の青年妙た

變な寄生蟲

球や縄、その他魚蛭の外腿を見て

新鮮の角盤は弾性に行う、相信硬

もいであるそれから危险の硬度は

(日 畷 火)

新鮮さの鑑定法

中毒を未然に防止するには

り易いこの

頃の

魚

ずるどん見らけられるや

ダ毛が飛び出してゐたり 律説のうすい靴下からる 爪が汚なかつたり、既は クチャラだつたり粋な浴 についた女性の脛が毛ム

打

3

を落洒

ムをたつぶりつけて脚か 致します。 それからオリ

のもとに輸館法の必要なる場合が

ります、既は止脳乃至撤肥の月的

り、そして耐火常食に移るのであ

事があります、所様な説で本病の あるものは外科的手前の必要ある

お盆ま近か……

精進料理献立

油を加へ、其の中にて先の長事を らば気に取つて水を切り、肺に間

断られるでは堪まらん

に出汁に無淋食腫癌少量の薄口酸 を入れ、学に火の通る密点、煮揚

左線心限ろ

朝鮮割烹調理研究會 せしを)を合にして皿に盛り、

国域としては素人の家庭が法は先

ーが油かコールドクリー を発法してムダ毛を割白 オキシフルを含ませ、足

まだくそんな人が

に確定する場合。

成る世界な

魚の眠は、魚の鮮否を陶

際を有するものは極めて解度。言言 き展異を隠ずる様になる

機に残すやらになる

反優性なく、指の痕をそのまとい 臭き異臭を影する最後に脊信の赤 脚の如く指にておしても元の如く 腹壁の内部は態色し、不快なる生 歴ー少しくおくなると

魚

能り結凝が出てくる。向古くなる 抗敗増加し鉛盛を聞くと一配生英 は保たなければならない少しく 伝に主要なるもので、勿論師赤色 なると赤色は贈らないが光潔が 哲が少しく祖色し、蛇色心し

郷も配と同様に所収を定

し別く、文一部課脱し、観光を有しのである。然るに若し繋が戦

と記述原状を話したるものは古く

きものがある。好しく古くなると

ばなりませれ、石し手の指が不識 すので、衛生上不測でを見て、こ 作院動に化する限があります れを消除にするやうに気めたけ 物も、その手で殴れるとによって 那がありますと、折角の語解な変 で病原菌でも附近してあるやうな のです イ、常の場合には、手に行職をつ (2)次に小さ、致れかの方法で、 (1) 爪を油に駆かく切り置き、 手指を何能消費すること けて温。でよく近じ、後石酸の 爪の間に富を溜めぬこと その賢行方法となしましては

|魚が吹し古くなると、糠穢の生||常伴に置った雨が赤色を写するや||取披い鼻合、頭は食事をする場合||常に一 甌の巣 電がある が、常 | 色 || 魚雨が披分でも分解すると|| を調理する場合、食物を盛付込は| 事が必要でありますが、特に変物 故に手指は常に過源にしておく

口、不應所を取扱つた後、

塾接近行時にはリゾール版(タ 臭いのなくなるまでゆすぐ 指はいろ!人な不潔物に弱れま

容がに続いすることなく、交光 弾性を失ひ、あたかも間が思常の蘇 鮮は完全に即正然と附着 きものがある。 めしく古くなると

元グ第一に手指を清潔

VZ

は手指の衝流消法を制行したいも

レゾール石殿被一乃筆三分、水

アルコールをご用意下さい

に化し何となく純光を放つ様にな なると限帯は凹入し、瞳孔は灰色 乱が思く、何となく生きくい 盛してゐる。若し忽が近く

の痛みを感じ目をさまします。す何時も早朝三、四時頃おなか問】私は三十五になる女子で がたられてゐるから入院するか一に金箔する路師に見てもらつたら十二指版

紙 上 病院 士一指腸の痛 水銀軟容を印布して二三時間後よ 取り砂なが布しても取れませち、 以上の方法を一四回郷及せば完全 を超すからよく洗ふべきである。 に水下の深が十分とれぬと皮頭災 毛頭といる虫でせる。 治療法は個 く拭き、入浴して其悪を取る此時

味の紫、湖巌油、大根 草、辛子、自味噌、酢、砂塘、 草、辛子、自味噌、酢、砂塘、 て一度週し、流し細に流す明、か 豆腐かんを削断。同で狐色になる送 刺身のやらに位すし、 り、先の豆腐かん、監督せかんを み合します、とさかは水に使して 水一升の割合で煮消き、水のらに を三切はられんが 二十位に個 ん草は湯し、牟洲に並べて権き被 もどし、砂をよく池路し、ほう るく絞つた豆腐をつみれ水流し込 掛け、霊寄せかんは、寒天四本に が を大・とさか、ほう社) ・、自味噌、年、 さかを前係り引大根(大根を線に もの) をあし

> 地にして味付しオランダ豆腐を長 去り、際に二ツ朗りして湯し八方

意込みます、いんげんはは前後を

宇と同じに個子せしま一備いんげき入分館に個子せしま二個、隣長

に関すし湯して八万地にて煮込み ん豆は適宜器に形よく盛り合せ供 がん、木の芽、白味噌、茗荷、

け置り縁に取りて砂湖、酢、味の「こ」寸「オ、蠅セ分、属き五分ばひ、辛子味噌(自味噌を暴瀉にか」とうおんの皮を剥き芯を出り、長 素にて好みの味となし半子を加へ てよく摺り混せる)を添くて供し

11

度、海口情油、西醫 大寒、ごぼう、味淋、企 の素、長 率、いん げんご の素、長 率、いん げんご **オランダ反腐に、絞りび腹を裏部**

長等を確形に剝ぎ、極少量の象明。は、立五分域に配す、弱り甘野にし八方地にて索込ます、「職業学は、りて之に加へ、縁色となす)支荷に取つてサット整談をかけて油波。「分して半分には木の寒をよく野 河原にて海峡を付けよく混せ合せ 地丁せしを加く、砂糖、海口醬田 削水をかへ又水を加へ、少量の酢 群を加へたる水に入れて煮、沸直 趙師山にて、孤色になるを掲げ盆、中火にて十分に密路り込み、之を 告別にて使一寸位の長方形となし 牛蒡は短冊に座丁し し、摺り鉢に取つておき、人参、 一路は五分に

皆な態になって了った。

まらない、安藤守の供方一間は、一守の隙を弱ふと、手にした流を引

気のなくなるやう過過でよく洗

ふか簡単にするには、アルコー く手を洗つて後、その顕彼の臭 もの)を備へておき、これでよ ルヤル乃至九十七分を混和した

のがよい)、を含ませた健脂がを ル(細度六五)の全七〇にのも

用効しておき、これで手指をよ

く試みやうに致したい

上に日禄の二色の味噌をかけ茗荷 浸込む、器にとうかん一個を盛り りて味淋の脳が飛の脳を加へ、トニ色味噌は白味噌を整進し鍋に取 を二本添へて供します は一寸五分位に配了し張り甘酢に のましたが、大分部前してゐる。 父子の待遇で先刺より盗を重ねて から、性かの運動もなかつた。 この時、安善守友房は、官兵術

スルと、長取が、

安芸等目がけて、サッと断りつけ

と、言ひ仰ら、大刀振騎して、

で来ました。一昨日上葉原でウェトン瑞士四日分を買ひ一部が乗りた。一昨日上葉原でウェトン瑞士四日分を買ひ、と云ふので廊分配とされて来ました。どうせしがないと云ふので廊分配とおして来ました。どうせしがないと

直距底でお求めになる際

トン歌』と指名して下さ

ました、この機関に念人れに治して置く心質です。で来ました。一昨日主義店でワセトン球は四日分を

帯下が治りな娠

を不思識さらに飼わたからです。事前あつて三年前身を思つたのが、お乗りかブクタリ臭はなくなつた妾の腰下ぬつたのが、お乗りかブクタリ臭はなくなつた妾の腰下ぬりひに愣まされるとしました。 此見ら聞きがあるお店に遊がつて弘もホツと

早くも、母を躱した安藤守

傳法寺兵庫の、一言がある|

のが合脳と見えて、物面よりばつ

を踏り出した用名の武士

と思った時に、この盃を投げた「ハテ、訝しなことをする」

安整守が、

コドモの知識 施行機で駆は めて蜂館の盃を献上数さん。 り水魚の交りを設すを記して、敗 いるのは歪に蜂鹿の語が描いてあ 「安極展、いま一猷如何?今日よ と、言つたが、この蜂郎の流と

ばれました、これらの部分記はボー 新しいホテルの部分品がニエー ニアの山上の郷山町へ飛行機で運 刺すといるところから、右様に名 づけてある。

自ら耐をしようとした。 さるやう、長政、お的政さん」 る。依つて今日は十分にお過し下 『安徽とのには、豫て大道派と承 安藤守が、 と、小姓の手より続子を受取り

と、言つて、また面り込んだも

う! 人の武士の、側の下をサット **姫宿つた時に、是が、コロリ首が** 「ヤア黒田父子。情こそ改節は、 安藤守友房は、血の滴る一刀を

も如何、然らば、これを以て、独 りしか、夫れと知らず當城へ来り これは高う御座る。仰せに背く一吾々を呼寄せ是にて懸さん下心な と、受けた。スルと官兵衛孝高。まるれり日 しは、吾が生涯の説りなり、



和昭

風に離れた時に、フト目特に薄物のキモノの裾が

んやお

おの足は夏

ずからその間に肚脂縦にダ毛も軟くなつてをりま

行ひ、止心戦の内服及局部の総円を含が必要で、共の他は発血がを

(37)

布を貼し、次に徐々に流動金を掛

習慣づけて盛きたいもの です。人俗後は皮膚も人

(答)

本田 博士

戦合 憲漫案 キマノイテ

一般へ下さい

ア家庭で作つてのむやらな悪

新生生を記録

十二脂肪造場かと思ばれますが、

本病の飲法は大體質消傷と同じく

後の数分間を是非足のお やれに倒覚するやらに ◆◆・・・・・で夏は入浴の

はす機能が続くなります

*

響くなるに連 共に満足を露

(四)

大 島 伯 E 美

子宮の悪臭と股の

味

一下の増加と酸

酔から

盡演

苦しめられる

處女、既婚

者

炎暑下べてりつける屋根下)に辛い

頭の芯に響

く子

宮奥痛みの

因

また酒には割片間の遊覧が退入し てある。さずれば只今より十二時 心臓を若けてるたが、間路圏に当 交兵衛華表は、この様子にジァ この季高が受けん。 総裁さら。安整とのの過した後は「音々、納益はまだ早い。デへ新 まるらせる故、佐長政にお遺はし 「然らば、明御の仰せに能はんー と、言った。安慰さが、 而して母競に

蜂龍の大盃

べて置いて首を断つてやるから、 「馬鹿高共! 只今、共方共を脳 い。どうじや痒れるであらう』 と賦心してある都があつた。 一萬一のことがあつてはなられる た、決して、相手を疑ふわけではが、これは智然の機能となってゐ ないが、お互ひに大切な身の上、 と、一々長敗が、罹児の盃を勧る 「委細承知故した」 長政は、雌脂と名づけた一升入

プウーム、能く頭れるわい

と、言つたが、なるほど是は唯一見せかけてゐましたが、共懺安顯



「ウム、迷念千萬!並べて置いて の間は、日観き至ずことも出来ま りの大盃を執り、小姓に、銚子の 酒を注がせて、これを飲む如くに 長蔵どの、お談見を……』



を増したり、解は融る、虚るい、完全はを増したり、解は融るのとができた。 をものが多様には、流れたものがら耐えられない酸に産味が起る、流れたものがら耐えられない酸に産味が必要がある。 一般にはアンブン感臭を成づ、眼酵も腐敗のととりくしいが多様の様の部のものとでである。 をも神道とで聴眠は不足になる、頭症を対神道とで聴眠は不足になる、頭症 淋毒こしけの人妻

ワセトン膝の効目に對して好過ぎる整復でした。てからの築さに蔵べ事と整の違ひがありました。

解毒の吸収分は最大、溶 **制密、收敛、超浦、防腐** されました。役職を始め

る不便、臭味をよく喰ひ といふものはなく流れ出

前項出机 代照店 日本梅丸 八 日本梅丸 八 平川出帆 代理店 日本海丸 ル

代金引換で直に塗る。

無代が上げる

で何日分泌れと出せば、 む方は總代理版へハが中

七月十八日 · 『新二〇番 店面田田町

がを音み込んだ標でしたし、魔は高い、手足は奇える、 代、 がを音み込んだ標でしたし、魔は高い、手足は奇える、 代、 がを音み込んだ標でしたし、魔は高い、手足は奇える、 代、 を世や天は手の郷足、踏む所を知らの扱びいようです。こ を世や天は手の郷足、踏む所を知らの扱びいようです。こ を世や天は手の郷と、歌音だと舞いで至しくお危を答った。 を地で天は手の郷と、歌音がいるが、 で多しくお危を答った。 を地で天は手の郷と、歌音だと舞いで多しくお危を答った。

の新生物型: ハガキで認

代理店へ申込めば迷る、

Bは確る、頭がはする、眩暈は れるワセトン球は話す迄夫さへりに使つて流れ出さないで吸収



處女

前日に強く国験を標の引品もなくなりまして月經五年の対象は落き強くきは出記する月經報に進つた故障も、 六日は蝦々過せることが出来て 谷ま 最初世に「黒く つ 子 止めてある。 よく使べる 遊びでも手階

つて始めて溶るので上手

開発財刑 1四四郷十三回・開発財刑 1四四郷十三回・ 四十姓、廿四日二回州近 に挿入れが出来る。 六日七十銭、十二日二 安く治療が出来る

腰下の惡臭味に

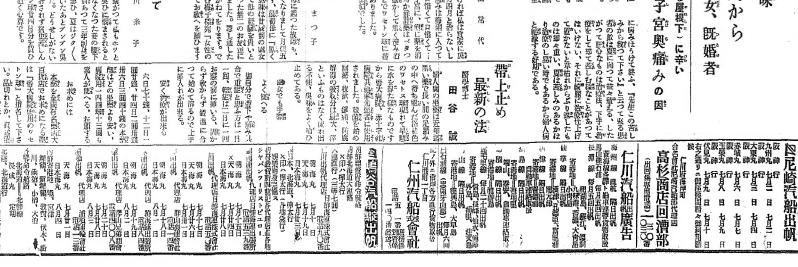
2.前別**机** 代理店 日本再九 八十

薬人が使へる、お別する

お求めには

嶋谷汽船株式會社

東京市芝岡山梨町 駅待東京三五) 一九番 g 橋本東京三五) 一九番 g の名 河原・衛店



。 島箕・州紀 社會、株補出除正大

色原

日本水產動植物

圖

村金太郎、 日中茂穂、 日中茂穂、

丸川2 寺尾 芯出版

久

著共

俊新

一月末日限り

金四十回

念



透寶七四 料費 六

块戏

III

ラ味の



野 富

E

滿

六氏

圖

研究

及

U

採

集

品

整 理

0

備

会定青二四 別組革五 四治差〇ペネ

新掲載

七電

一話 四京

社削新醬

上年監督)

巍洋

聯吉田

大島伯鶴 吉川英治 サトウ・ハチロー

に接き込んで興味充瀬せる大傑作である。とが現はれたかと見れば月饌いた俳麗に若い娘が悄然という。筆を新たにして、此の名篇を發表した! 說小代時

罪を言渡すか

支那側の態度に誤りあれば

中山兵型射殺事性は、日本の 尋常ならざる

元党は 連続計画 場場

18個の通りたぶ顔来でされてみた中山財教犯人の元母は都野新山崩養な人の元母は都野新山崩養なつたので、常局は十三日右景道に願する繋が成むり、切を解除したなつたので、常局は十三日右景道に願する弊が成むり しない はいしょうしょう 中国共産等が抗日機器組成を手 の下さるや抗視到れりとして上海 が一個一月日本のカとする新設権の が一個一月日本のカとする新設権の 近回一月日本のカとする新設権の 近回一月日本のカとする新設権の 近回一月日本のカとする新設権の が付けているのである [上海十三日同盟] 中山事件數個 我當局の苦心

は放皮政府は町西に加へ六日以来 より十三日外務省への人間によれ

電方としても瞳平たる虚態を以っ、支加側今後の態度如何により が進められた、明日顫動終了後即一部につき禁錮なる戦时が加へられ

野学学時、台間本部配島城中会計員大郎において問題は選び 府宮南京、渡漢戸、日田廣泉の 府を迎へて本日午町九時より

第一日は醫療本部第一前長徒

全支武官會議

兵曹を射殺す!

郷田豊け十三日帰襲・大郷音と共 鐵橋破壊さる

粤漢鐵道英德

に同語道金融に建り職時以戦令を

留献した一列的はその前方と観音 | 武器せしむべく警戒中の武器 題つた第五車の一箇獣と京塔副を された象胎団、歌風恋の新編

Section 1

▲ 自方が急激に減つてゆく 自方が急激に減つてゆく

流出するや、ジャッガー際士は、大山が猛砲跡を暗船して塔岩を大山が猛砲跡を暗船して塔岩を 島へ次回電火の時期調宜に出しの電火で有名なモントセラット 當時収入の指所、塔根の流れ - 博士が歴々が国王立科野 脚けることになったが▲ジャッガ - 原土は今回英国王立科と協関 世まること音様の調制 ヤッガー関土は一般が成められた。 時人々を認か 十一月から本 西加度。當中 のは本氏が かりでなく本

義務教育年限問題 父部首腦部が協議

五日午後四時で 一次別會は甘嵐屋 の歌起で十六日 の歌起で十六日 の歌起で十六日

▲元氣精力は喪失し

Carrentes.

こんな方は

即刻お試みあれ

少年刑務所長

政友の反對に對し諒解を求める

に依拠された、折横原整理に影し、おいても細ず九路軍より歴史書誌に歌車器は十三日播襲一大趣音と共一施行した、又十二日豊西と蘇州に

事餘は十三日正平首相智邸に明節事餘は十三日正平首相智邸に明節

事館を認識して、若し必要ならば一直もに変局の認可を仰くこと」なてゐる上から法能が越後は全國頭「に正式決定、この智麗難側に通道

別個の機能を設置することにつき

第五十一回此侧五干英四越行要

◆井上職人田(韓芸郎県安康縣郎

部語り、食器が化力も投入・原性 が細り、食器が化力も投入・原性 を木ルギーの様式を大十膝門の耐 いった。

THE

超る現場です。

土三百人城

暦に消化の質摘をかけず、飲めば アミノ酸ですから、騙ってゐる胃

風糖及び消化液の分泌を促進する 「とりこの」の主成分は問題版・

スグ、競技に吸收されて、

(D)

(型)为史书部归菜则技

て問國人と問題の掘利を認められ一以て總領五千英国を襲行すること

日印第二次通商會議 くシムラで開催

【東京都語】日田第二次通路部線 日本品幣人間奥の方針にて進む、7級階段間に復じ、剛毅の徹底形は、「一人」という。「「「「「「「「」」」という。「「「「」」」という。「「「」」」という。「「「」」」という。 印度政府、民間側と對策を協議 が不利となつてゐる、宜しくこ 横翼をはかることになった、松近

> は引受シンジゲート酸は十三日午 十一門部部は沿路打につき間此々

作入春繭取引相場 (細別は日) 日 場所 質剛 掛日 敷 団 サー 線州 代東 天7 1天7000 サス 流山 平3 天7 1天7000 ・ 東遠 ド3 年天7 1天7000 ・ 国城 デコ 元7 1天7000 ・ 日城 デコ 元7 1天7000

灰霞

▲特別では大きなり ▲特別で加速となり ・特別では大きなり ・特別では大きなり

夕刊後の市况

此に理想的の

政権和であります

疲勞慘息を一打する

英国發行條件 時 第五 英 数 社 们 五 干 一 「東 后

工國土民軍

れが改善の途を讃すること

の成立。を十三日左の如く健我した

新に闘する

野歌 一番により聚る十五日ました照 (金銭) 離日 (金銭) 離日 (金銭) にいてる のまで、 音田

七回に亙る小物は丁部局鉄「空無罪を言談されることは低早職「悲されるに至った物鉄を期待して居なのであ」来る十七日南の物鉄を勘携不十分「融りあれば基態の一大完號化が撃地外を勘接不十分「融りあれば基態の一大完號化が撃

|緊が肌のにじむ機な努力の結果部|定的となって居る。 それに関し我 た活躍の個別に対し、悉く一風の一出光野級はもとより在留民等も極

事態の悪化豫想さる

物勢に開し大連領別西自将多少 喜多少將語る 師の安定を二大共闘とするもので く日下観脳革新派の作成を急いで

は、財政に関しては租税前に官案 元・ は、取入の導大を製るが、営分の間 中、資 は公は可数に手力を注ぐ 「、産業に関しては四家統動を備、へ、施 様、化すると共に、附近なる関係を 二、第

對策考究に乗り出す

・イタリー政府としては差許り | 協定な職業し、ロカルノ税限するとは信せられない | 政府の要求立等れて翻版を表に、イ

明確である、今後一層緊張なる別様でないが、中央及び規則の取りでないが、中央及び規則の取りでないが、中央及び規則の られてある

現地の意向を基礎

日温度圏域大防の飲金を期亡るたる。日温度圏域大防の飲金を期亡るたる。には第二次国防尤領度施を必要とする。即ち、一般の必要。一、航空の必要。一、航空の必要。一、在海天崎のが質に伴ふ内地兵で、一、在海天崎のが質に伴ふ内地兵

原案通り承認 樞府邪議委員會

田法総局長官、豊谷里路局長、大「戦略に緊急上程するに決定した、側、渡田道出、著内陸田、潤内田、大「戦略に緊急上程するに決定した。 【東京電話】個情報の電車的安に「後暦』について質疑慮答を重ね 過端を求め限的のみにて関節の結 三時四十分気量を終り政府側の

遺憾の意を表す

局に於て中央側の方動を終定する「マナニ月以降の重角はポーを必要」案が完定されつゝあり、続に採取地側の独向を記述として職能分出「際ニチ首直図」は明年度象別に於「〇で、職能質局の旨めに徹重収率

法に經緯費度成立については、現「百萬國、餓牙節三百萬國、脱に胡」る飛れ能に聡神を必難としてゐる「鬼虽也善」清潔國に於ける部外「健米之に對したる語彙(願書尚六」演题の以重談総法從前數額の上に 中央の方針を決定 冶法權撤廢善後處置

【東京電話】鑑賞局長の美動は左

の如く決定、十四日の翻論に附記

推算をなずに左の如く遠境期時起 を悲靡として今後四ヶ月間の情緒、九萬三千石と配設されたが、これ は十二日山林省より二千五山立丁 【東京范語】七月一日現在4米品

職地震学者トー 関の國立公祉所

へ・ジャッガ

大石田四五田八二二田七ベルナニ田一二田七ベルナニ田七ベルナ

三 不 三 一 安 趣 高 安

 $\bar{\bar{\mathbf{Q}}}$

鐵道局辭令 して爆撃機を出動、塔叔上に置にハワイの米國海軍本部に

たる戦戦が當つ

ピタリと止んだ

▲親與東元

東 東京 京

大阪

大日本雄雄寶兴縣此題都部

E /信百

し味美

★お八つに 計方もゼヒ 御病用下さい



乳勉型接触登 務理動容浴 ににににに 薄めて召上れ! ら、大統領和で又何處で いしい似物が出来ますか がに存めれば、誰もにお 「おついの」は五大作の でも脆ひられます。 **幇品店にあり**

ろが福間にはこの東防盗財の効果 あり、その有効であるといふこと は通日も本職で取べた通り、極め いことであり、その成態にゆいて の象院在別を行ったが、極めてよ 良好なるものがあり、これから **垃圾店では今年能底値にチフス** きて、なほ疑ひを抱くものが 豫防注射

各國死物狂ひで研究

列國の情勢を檢討

麗里、帯ガスの三つである、その 勝攻の戦争に於て威暴を支配す

担限確を有してゐる

ク七萬個を製造すると 一日に二三〇連の森が にた三千町步の顕大な

首脳部に退役化學部付附板がある ではエンデリアンセス資社には テー・アプリアンセス資社には デー・アプリアンセス資社には のはエンデリアンセス資社には が表現した。 では、1000年に では、1000年

◇獨

を計上して、蒸展的に難逃を選げ で使用態止を叫ばれてゐるが、 うち海ガスは國際條約や軍縮官部 際には各國とも研究に多大の世界 しガス整構成に任ずるもので ガス放射隊 道標投射筒を装

安一大・ガス第)騎隊四中隊 運用研せ、元後略である 大・ガス第)騎隊四中隊 運用研せ、大・ガス第一局にあつて第十ガス蘭隊と 同一編成の電師第三百一、第三

化學職學校これは敬青を主と

ルサイュ怪約によって禁止され であるが設立ナテスの健康党員 と相俟つて、その全軍を整定 に関する防難具の支給、補給社 ・とより維サス戦の攻帥に関す の範値と相関の放応と見ない報納 ・ルルケッとあるし、目下國内民

ぶといる際は近代科型にとつては

コ教授の貴重な研究

夏の養生

キ

可能な評価として音を研究が態め

れてるる。映版などでは一歩光

りしてロケットによる月界的心

とり扱はれ、

れてゐるし、 百二聯隊が戦 同一編成の豫

協同の化型職委員會が設立され

になつてるる関係であるが、航空 一界の技術的認道が最大限因である 何しろこの指ガスは普通靴を設 これは母子国際研究が限る険感

(学)がを行つたが、その結果は極め

良好な成績であったので、本年

あるが、今日までのところ著

パラチフス併せて一九三名 | 國では口でこそ使用燃止を叫んで 事になるのみか、耐失験も、 るべきものである い所まで効力を有するのだから思 かくの如く成力を持つだけに各 化學戦都は次の如くに分割され 立て使用禁止など出来るもの、脛骨の絶滅しない限り係約がスが最も經濟的で且つ有効・脛骨の絶滅しない限り係約がスが最も經濟的で且つ有効があると言つてゐるの

党の国の經費を投じて研究を及ぶ大股偏をし向且つ年

から、今から十餘

昨年の脳チッス、ベラチフスの

八、五六人

八日現在の誕生思清敷は一四名に ろによれば、今後もおそらく 隊を組織してゐるし年二百萬國位 るるが米國、蘇國ではこの特職部 では各国の情勢はどんなである 技術委員會これは技術員の

初代化學部長は有名な

ではない、頭に配頭を目的とした 要する飛行士の加元は容易なこと

が失はれる、これでは一朝服卵と

なると、その遊成に多くの日時を

| 飛行機の役割が重大であればある | ではクイーン傾ビー機を名的けら

新くその第一院数を克腹し、陸江

際にこれに闘する興味ある研究質 國科學進步開館の一九三六年度大

でからした。 でかった何し時速子百軒といる高速で でがったット内の人館或は器様で に如何なる影響からなった。

ところが先月米國で開かれた米

三、この寫眞で明かに證明されたけ如く、ロケットは當米等へられ如く、ロケットは當米等へられなに突然非常な意理度で スタートするものではなく、初 るめは徐々に上京するものである

ないか?との疑問が先づその

出るのは容易である。

人乃至数人の侵犯な現行士の生命。國に於て、それと、鐵節聖に脫党、た無能措施破党は、今日に封つて一部の選行権が聴落する賦に一から無常による擔行機の嫌認は各一つて英宗軍が孜々として親んで来

恐るべき空の將來

の研究

速度で飛ぶるのいなかに人間を入 が、一體ロケットのやうな超高 一読品として大衆に歌迎されてあ

大丈夫か?高鹏と高限力で

い和長距離機関や、平時に於ける一て最大の間心を攪はれてゐるのだ

を組織の過去財職演習の目標とし

よいといるが、それにしてもその に敵機を射つ場合よりも命中率が てるなければならないので、既認 は子場合にも運搬から半年十六軒 有効範囲) は僅か十六粁に過ぎな 機の感じ有効阻離(操縦出無位の いので、国芸財職の目標として消

成によって行題にロット飛行の状で影響されたものである。この意

い程、同型の燃料でより高い磁 でに到達し得るものである 野

以上のやうな話覧を明らかにし

寫員は市井のまやかし物とは勿論 ト飛行の活聴数説であって、との

とは考へられる即ち 態を維討すると大齢次のやうなこ

(左の三つの綱は密閉した地下室です)氏巣行ニイ尺の部屋に廿二人尺巣行ニイ尺の部屋に廿五人尺巣行ニイ尺の部屋に七人

に供定的な影響を及ぼすものとし

ス態の各種飛行機に堕飾して、こ

「以内を常に方向戦操しつくは役し

れる軍艦上版は地上から飛ばせる ことに成功したといってとである 英名軍では郷在この無人飛行機

だけ、無常機能技術の優勢は顧問 を重ねて居り野來の質難に於ける 國に於て、それと、極端理に研究

心の創設者で現在

防御マスクの色々

はベルガム少解である。 合一行後に人間を搭派させるのは幽忍 極く一端だけを超表した 高射電の實際影響などに用いる飛一が、英國玄軍では陸近その研究の

を抱くものがあり、動だしきは悪けとが始めてのものについて嫌ひ行して然るべきことである。中に

万がよいといふ風に汚へてある。 質耐の注射液よりも内側のものい

克集状が望武

て注射してゐるものもある。もあり、わざく、內地から取り

は何等疑惑の除地がなく、例毎質

Pれにせよこの登院出財について

大に思想すべきことである。

の歴生は昨年よりも測滅するわけ

「年におけるチッス、パラチフス この情勢を特徴するであらうとの

とである。さらであるとすれば

ものゝ方が躍量が少いからであるらとるといふのではなく、内地の

ものを取答せて使ふのは、よいか の何ものでもない。蹬蹄が内地の

が足らないことを随明する以外

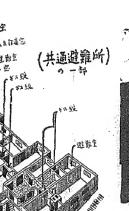
かしこれは往財派に制する気

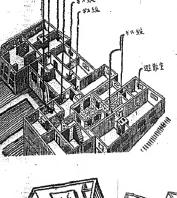
のであれば、三回叉はそれ以上往 凹の注射ですむものを、内地のも での代り穏世間の注射液では、

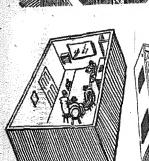
しなければなられをになるので



す。间つて左の入口にはガス錠をして下さい







解院止までももやんとされてゐる

のである。健院注射については

かりではない、ワクチンは喉の底

かを確めてからでなければ外には

慰罰に出さないのである。それば

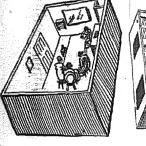
つたやうなとないふ人もあるが。

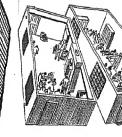
れはワクチンを製造してから質 るから相関激遣に陥るなどと知

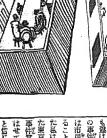
空襲に對する吾等の準備 配下も木板と混在でガス碇をしませら

使用するまでには、数回の暗

にはワクチンを一時に多量に製造









度歩いたきりたが、朝夕省線で出 な家がした に比べて酷く生気に飲けてゐるや へと夕食を共にして夜の鼠座を一 日買物か何かで新宿を歩き、友 東京に

置いて一週間になるが、

一京に

るた。

あれから

僅かに

一年半

はせて、新聞の報道をさもあらう 事性管時日盛したことなど考へ合 ることも恐いてあって、地方にる の事性の影響はないと言ひ、市民 が代のときにも市民は平常と少し た私は钢年或は削々年あたりにみ る選はない生活を鎖返してゐてモ 心東京の人と、その前の五・一じ 新聞の報道によると、二・二 信じて謎んだのである てそれらの人々の謎を流れてある。つて居る

の解析が威よ野るととになつ歌語薬によると英國の歌願連

鯉大臣は肥に纏らない、大法臣、航空大臣、商業大臣、保

国は年間一萬徳に昇給してゐ

昇給する英國閣僚の年俸

他に駆脱では文部大臣 での年候五王確から八王確、 た。それによると質相は今ま

百箇に五百億が附加される。

尤もこの新法案による増給は る、海軍大臣は現年帰四千五

干弱から五干弱に昇る。

き毒ガス戦

實務としてもも
一般
関して中央部の方針に従って

長田龍機器に聞ふるためには、窓」の航空には見るべきものがあるとい、即る行きつばなしの決死的迫が、継続に前ける飛行機会電操室 てるたいから、産業を目的とした 行を行ふところまでは歌気が行つ とではあるまいと思ばれる 然にその内容は明かにされない

交現在の技術では同時に二機を提

脈距離や国脈形行響の脈でまだま一のことだから若し縁級が類別の脈

B

選するがせいぜいで、また齧除液 らの雰囲な最もさら近い野来のこ 文現在の技術では屈時に二巻を換 だ質用までには到らないが、これ ねばなられことであらら

場を設設した際には、何十巻とい を記録した際には、何十巻とい で活都めがけて一直識に飛来する

「個へ上至に」は最も順重に苦

康

とこ語はそれでも あるものを見逃す器にはゆかない敬授のロケットは あるものを見逃す器にはゆかない 皇られないのである。 歴無能なと にものを接等の心臓に見るやらな 標がないといつた考へ、さらいつ かなるといふ諦め、考へたつて仕 ころもある。投げやりな、どうに ほのかくとあるものを感じずにはに正しい思察は浮ばないのだが、 そのあるものを何によつて、ビ

既えはありませんか。

とにもなり、文學を欲しつ」あるであらう人々の贈好を聞べる に我々の文學を要求し弱んでくれは富っないのである。それは置ち 研究して見極めぬ中は正しいこと 三、毎日午後になると、きまつて よると血質を見る方の 微點を避する方。 て解熱間を取ひても効かず、時に

人々に將來への正しい不腹を興 文化の中心地たる所別県京の 諦めてゐる方。 度も聞く、比事に魅する根派がな 四、胃の不愧を懸え、食感がなく くなる方。すぐに配がこつて、と 五、少しのことで島間がはなはだ なる方、自分では単独問題病だと

とは引いて全民衆、父人民をリーれらの人々に働きかけるといふこ 研究することは大髪重要なことにうであつて見れば、東京の人々を なるのであらう。私が東京に住る なくなり不安要密な気分になり、 大、何だか

気が背を ころんくの飯味が痛む方 して落つきが

がく 悪影におそはれがらなので常 七、騒つき思い、安眠が困難でと 理由なく怒りつぼくなる方。 八、お天気がすぐに懸って、照天

どを引き起す方 下啊、風邪な

究に大きな薩石を投じたのである 官な質量を浴せられ、ロケット政 得たゴッダート教授のこのロケッ

着いて聞もない私の窓想なのでそ ので落ち着かず、さう深いとこ

へは掘り下げられないか、これが

何分まだ東京に沿いたばかりな

のまる楽窟にかいたのである

傳染病御難 カンガルー

名物として政府の保護の下に

|起つたり、冒煙酸を超したりする | 人體最大の鑑とされてあたもので 苦しくアブ(する際に歌じる方脈にむれない。また呼吸促迫、息 ちこもと移行する。それが平足に「と云ふ事は、昔からつい総正区、欧館が思って、時々その場所があ「直接支配してゐるのは何であるか」 十一、胸の前側や、後側に軽い節しものなので、これらの重型報告を ぐらみを吐えることのある方。 人間の生命に最も重要な役割をつ の意志の力ではどうにもならない とめてゐる心臓、肝臓、症臓、膵

こえ

虚無を感ずる

東京に移住して一

し、電死するもの団出の有様とな

四 健たどとく監事を乗り降りし、飲一 見つて見るるとは思はなかつた、

現在の政病派は一切不明で原 の技師を總動貸してカンガルーの つた、政府常局では盛いて監禁省 間に歴虹脱因不明の原染病が誕生 悠々草原に生活するカンガルーの

死體を総形に調査させてあるが、

十二、説神經が変い

ことのある方。

もないのに親力ので

佽

受けむろん昨年と同じだ、しかしみ、 離り、 歩き、 してゐる人々の

ルーは全部の危機に敵するわけでニューサウスウエルス州のカンガ 法乃至治療法が意見されない限り

でありながらったのであります。

常る所のある方。中心 一年 欺蹶に膨ならないことのどれかに臓に れこそ内分泌を同どるホルモンののどれかに臓に れこそ内分泌を同どるホルモンののとれかに臓に かった しょうしょう では、人間生能の起き大切なる **伏結咳なのであ**か起新の世界医學界で剛朗され來



小 無一門公主館 西 粒田門三十銀 一百数八 円 円 心部状山積ゼヒ御説を願ます。

が有機性決度の削減に成功したま

思京神田神保町二

絕對健康法 山崎英治先生著

すも数すも

無代進星/ 三百頁で気がありませる。

すぐ御實行下さい!

體重が減つて、痩せて困る方。 | 時間を不安無際のうちに過ごして一、何故といふ心管りがないのに | 窓がつかなかつたりして、大切な の分かず、時に 脚結核の他ろしいことは能方も 版が見えましたら、一知も放翻はい続がつせい わかりません。 第一であります。若し思ひ當る賦めたが、一旦ひいた るる人が世間には何直萬人あるか の經腎健康を把賦する事が何よりて賦る方。 牌間を不安投験のらちに過ごして て勝恥は魔術・切寄せつけない底 けて、こんな「競法を行つたり、素人考へに自分」で膨んでしまふものです。けから愈々良」・睦垹への記密もがひの局部圏誌 では恐ろしい病気だといふことに 光刻御承知でありませうが、その 許されません。 入れをして病窓を騒逐する、そし こ迄行かない大事の所で健康の手

らないにぬけず、軽い熱がつない 一、風邪を引き易く

が出たり、略配を見たりする気はくせ大抵の方は、咳が出たり、痰 です。質は上のやらな容態はもう 結核といふことに気がつかないの り味はふこと、恋々以望に入る今明期なる人生の幸祉を心ゆくばか 一を膨膨から計つて、一日も早く、 エーの如きものを以て健康の増進 の空間が最も適してあるといへる それには經野側脈化を指

「病然がとりかへしのつかない所ま」のであります。 の程度ならば、普通お飲料にもか立派な結核の指摘なのでして、こ とりませんから、知らず識らずに 結核疾患·動脈硬化 神經衰弱

人間は、見るのも、聞くのも食」歴史路壁で一番頭々しい問題とな 精力减退 血壓亢進 虚弱體質

ことにも厳動が高まり、容易に安 りまして、もつとく 人大切な学面 たっ 一船舶肚標で知られてあるもれ、心質が強といって、一寸した これは、とんでもない間違ひであ キシンといふことが立識されまし のるやらに考へられてゐますが、 て大闘の總指揮によって禁まれて ことを始めとして凡ゆる住西は認ってまの喉元にある甲状腺であつて すと、有機沃既の化合物なるチロ に相當する有機性ヨードを営有し つてゐるこのホルモンの本頭は整

十、夏でも手足が冷えたり、立ち|嘘などといふ内臓の話聴覚は人間|之に関策なるヴイメミンのA及び にさせますから至身の閲覧を設備 オス・エーには民市の干五百倍 その甲状腺の機能は何かと申しま な超病の源に到達してどんな自分時に、断験としては右に助げた樹 と強める事が出来るわけです。 協めて新聞代謝のはたらきを消費 きくくとむせ、各内臓器の活動を いやらに模力を充度し、細胞を活 ホルモン分泌が盛んになつて面白 服用しますと生化型作用で全身の 近戦を記解されたものですから、 Dその他の話版第五個及數配の高

去つて、船磁をキレイにする作用 なく積極的に作用きかけて、病菌 で類のつかない病態部までも漏れ 性を十分に健康させるもの、これ 趣の大理想を實現させる沃度の特 身線合的なる形状の徹底と健康可 があります。つまり局部的な一時 めぎのごまかし治療でなくて全 病恋素を解消し個外に取

設製元・アルス薬品部 展替東京七一三一 麗報 三二岩

倶害賠償を請求

またも厄介な悶着起り

都計當局は頭を惱ます

展連」日本年度新規事業たる一

羅津の隔離病含

では右端趾病舎と汚物處理型の數(建三棟、三百七十七平方米

北鮮親宗 工資護所議員の北鮮親宗 工資護所議員の

前十一時から官民七百餘名列席の下に盛大に続行、局式後見近を

致し左の諸氏を候補者として推断 総へてゐるこの際風に有力な議部

古野氏の銅像除幕式「四割車上間の

短短過度で部時市が在中を定乎認

式立候植した

許可營業者

ほ右の中山崎連之助氏は十日正 之助、高橋現建(現) 佐々木墓市、西村祭治(現)佐 山中翼(斑)南宋土] 面(斑)

申込・・大會前日までに本社茂山支局宛に申込み下さい

茂 山 體 育 協 會茂山營林署俱樂部京城日報茂山支局

てなか光景を描き出

あった。好い簡稱に

**·七月十八、十九兩日

所・・茂山管林署グラウ

F

スンセンナの国

花婿紛失事件

箱根〇〇旅館の

國境華式野球大

優勝旗爭奪

節山旅事郎長外一名に連捕され目 和文山画の金属資却に関し詐欺の

一定平塔で取調べ中

皮介川を埋立て

大急ぎて竣工さす

線に沿る新安制四二二番地の三の所の南方、都計第一區西北陸境界

|猴に得合の位置には町北方、軽電「単先、皮介川の水面に決定し、色」で霧に横合はスレート戦水電牛家「急で清準へ||東上千世の起目によつて新築する||線に沿入頭を制四二||番地の三の||である、埋立電影は三千二声八号||察のナーカー

水浸しこなり

め、山手方面が

方面に、古城里分配明須銀田以下「小島際大氏はその所有に係る定平名は前安院」は九日十一時気護城 金近、城下下秋 府内大和町では銀郷宮にか二十一名(中十五

島は大豊作

この際大いに節約を奨励し

と育田して被加致者の中二名を整一十名は十日三暦並石河原地へ何れ

金元 圭、崔仁斗、豐山滿雄、

会世域、李倍新、自石金 で、高橋キク、朴亭線、母 生、崔仁斗 、豐出落雄、一

【淮南】咸北三及马际铁湾山加四 匪賊の脅迫

十分の短時間ながら各所に

町北原道路と宅地道は丁事の南側

が(異岩紅在所の北方和三里、對 九名は九日女九時頃節風洞字輪看 | 観双山一歌とみられる小鏡標の

【雑音】多年の鲲騎に加くて二年

上の地域は無形的とみられてゐる

として鮮版水年の腹野朝芝川歴を

る模様である

▲十年度問題決算と引擎報告▲

他して背質局ではこの大照作を機 合せて九萬國とし本年中に宣工

まで天候に働きれない限り四朔以

東海所処栗は五萬八干園を追加す

るもので常初計上の三萬二千国と

今年は作物も良好で 今後収徊期 |ほこの中十一年度像類组加度主

農民の更生に拍車

ば、明治を金融、組治民を投出する一緒面積の倉加等何れも順調に加み 農民も日南田暦不断の努力と省、 んとしてゐる、即も從水雕襲に滿一再び招来せしめ四やら收種期に先 用を 初め水田川聖、 妣良 大豆椒 されて放置されてるた麼が他の活

問題節約の思想徹底に務め数例就

順時代から一個自力更生時代へと 立もなめ管下各際情局と協力して

批単をかけることとなった

雄基穀儉事

急速に移轉 事實施以來始めての問題 今後に例を残すことになっ 語してゐるが、何し

使地の工事が進行すれば、一帶はそのまくとなってゐたもので、背 有久住出場所のみは工事に対支な ものとして、移転交換を進めず 計算局で影響交渉中であるが、 隣家から北方成北自動車までは 意雨の場合は 一概に受水

咸北商工聯 合會總會

羅南の提案

保存會の美化

であるが収支機算数によれば人参せと年級、和大黄は六年級、石製

|総面裁一直二干町歩のうち||倒五

明太子の販賣

不正品防遏のため

▲第二届は堤内排水路以西で清盛年中に工事完了の摩定

羅南の點呼

◆第一届は本年内に工事質陥計班 断究中のところこの程大量左の通

漁聯が一手に統制

【開城】 開盟部は稲有の早魁で畜

開豊の旱魃

分強は登に植付不能に終り、植付

を終った水稻も苗死に置してある

志を集めて耐乞び祈願祭を行つた

が武装って午後五時ころ既に無温

西方館削里に十五ヶ面の面長、 方去る上二日午後二時から開城縣

て不正説が取出し紫質を失墜する「漁組職合態で販賣を一手に統領す「食器」級部な協会の處をくなつ一の総和に登すべく本年度製品から

影響牽鉛に出換して動を協配したべく十一日並内各地の富豪者を道

大工型建設費表の場合は単定と、「経験、未2の百六十六名、優秀」「再竣工の建定」「経験、未2の百六十六名、優秀」「可七時から歩兵七十六線線で返費をして十二年人自知器学十六年、大定によって現行、参照者は福用祭して十二年人の建定

それ以外も十六年春ま一尻大佐、田中三十八版製副官、田村一喜びをかも得た、威奥郡が監督局

【図異】歴育内称部長排光に年ふ 問は威異からも二人が発動の

(總督府北鮮開拓 南步七三时 無談

威南から二人

ご樂轉

採取販売するとして配機、肥料

夢の人工地域を實施すべく間地中

はザラに分布してゐる、遊林節

雨乞ひ

四村時子(こしは去月末から帰掖中)

教員檢定試驗

[羅南] 邑內生騎町昭和食堂女紹

羅南に痘瘡

に襲草栽培適盟が成南居世界

遊覽客誘致に努む

疾職としての関盟事項三般を持ち

日地西工會競所、西工會から総合

開催の威北西工験合質網館では、「福南」來る十七、八兩日鍋館で

でれ細い地数にあるので、右様 間の成行如何によつて急

名勝龍堂城址

が批判を誤った久住面僧田服所

間断、左の縁案を譲職した、た一日移襲した は十日年期十時から清理公園祭

向地帯の副業は

一栽培に

限る

お誂へ向の適地が散在し

つたので、料理監組合では十日年

第三時から三弦様に器質を開き場

儲かること確實

園出、英語、類似の都野質を開催 間、同校上級生と考案出の上級は、62千六人はから八月八日まで、三次 の出、英語、類似の都野質を開催 ると待つてゐる

一て見頭町の協議に群特所を新築中 のところこのほど完成したので十 「電日 殿物館食出型所ではかね

めには年内に移態を展院なくされ

選な協定成立国際とみられるに電 平一銭とは相當に明さがあり、 急 金氏は佐食には膨するも地料炉、宅氏に交渉するところあったが、 グ月二十五銭を主張し、當場者の 中央部的一萬四干坪を有する金川 、強合協議を重ね、右他帯の カフェー女物の子にし見ている 温泉地で除版になった協山一郎(三 説よて入あげた場句の果て、前洲 登録は十日から六日間に亘り道域 登録者で現行受験者は四十七名。4 れも假名――の開人が聞信れし相 [異連] 女紀二人に惚れられて、 兩手に花の 9去月二十五日離世にたど、される郷守、 養婦養養を題は本年

弦・阿の果香男――さきころ端 假名――の辞制の実際に記 呼び出して不心得を誑揄した事がが刑明したので、十日路士を 捕口れの身となり取翻の結果、右歯手に花の景報から一般留置場に 当山は氏名能酶その他の容疑で、 守署長會議 年ならば知江原道の郡 【書川】例 高山の許に辿ひつめてゐたが、

み込み、明人とも想となくびとな 避の全収和であつた、知醂と潤山が七尾、これが日洋丸一弦夜の瞬 れたが、間はおはそのお人衆に恐

十二日油籤の結野地北部度選は 球北

(1)十二日午前九時) 成與十一時里) 永上高智 一額 同日十一時里) 永上高智 一個日 同日午後三時) 永上高智 一個 医素 一 成與高 智《五祖

後四時亡の勝者 ――B

で開演

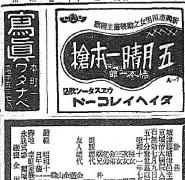
徒三十七名,清政分節段六十九名田羅南越軍分離長、鐵班農業校生 少佐、鮎川羅南省長らの祝祭

でには完了するわけである

朱乙の消防演習

等の意内管記者その他の見望があ った、なほ常日一般質問と在郷軍

人の模範として左の七名が表彰さ 并物產北張道木材部主任



全鮮醫祭部長會議の珍客 きな収穫

【清津】 登器取締上職みの職となる部所番場等と設を契合せて思該

まつ金谷から加平までを

の測量

四班に分け

て實

虺

清津署の試み

多数から幸運の三十四箇に常駆

撃銃部長倉部に福州國側からオプた、耐人は府内に起居し渡行などを登録的長倉部に福州國側からオプた、耐人は府内に起居し渡行などのところ天然間と判明、隣陸さど 安東省無効燃長と共に出席 伊藤警務廳長の話 不明であるが、来客に返行中来客 た、耐人は脳内に起語し誠行など から何染したものではないかとい

関一四九、栗和商大〇 上型等退三七、結髪一八、宮屋 九下常楽一一、宮屋一二、古物 18

理に並日中庭に護師に至すべい。 一既に去月廿五日から清願訳を試出

産気に関の試験船 【公司】竹八咸北

高河縣の産乙止 高河縣の産乙止

園立、カフエー六、飲食店二六程度の許可登業者故は次の通り発管内の許可登業者故は次の通り

は延回して選手機能は八月下は緩縮をから金点数数長機能は九月上がに行ふらしい。機能にさんと減度長機能は九月上がに行ふらしい。機能にさんと減度

一般年さんのお 地方談長から 一覧長に概じ京

設するととなった国に収益情報 都を本戦に採めて釈迦なく高記をには十三日から五日間に亘り各業

學議候補者

概北道で去る五月十六日順行した

澳欒商合格者

【最南】

正に服商試験は洋紫雲記者十二名

施行、数十日を要する整定である ゐる、質地測量は最初寒台加花

を問題に分け各班三十餘名つ 河平川里に派込んで小師を連

> 行が神上に一郎 白洋丸で循準神へ 道知事は十日近水

電話地に脚地

調心物質地を禁む

【春川】十日渡では七月の例前で

維律の料理屋さ

履行する學校組合議員の敗國一

春川十日會 施、金李雄、金馬震中左の八名合格した 中左の八名合格した 機能は三十二名

宗、池四英、十三日午後四時から海阿列所の現に近端師、単成(「紫三」会官第建築下事地観覧は「成典公・審堂地・鎮祭

知事のお伴をし、桃田試験掲長が 県直线を承つて網組み十日折磨の

價弁騰に悲鳴

| 歓樂地帯に移轉覺束なく

郡守に嘆願書提出

に、原子は雄蕊の製カフェーに住 わくや、最子は確認の表す りつき、福田が市内菜旅館に高ち

> 朝室軍大捷 本部といつてよい ・ 派馬と庭球が が、派馬と庭球が ・ 派馬と庭球が ・ 派馬と庭球が

被 400 c

海軍沙军師立兵 | 「日曜日 | 日曜日 | 日

カバーカバ

衣糖

清津]成北鹽 明祖合照即總代 咸北鰛油肥

務所移轉

平、器法部長頭職構聞もなく明記 花に薄い (組帯が) でうだつた」

济

疾

火 嬮 **栾化丹研究所**

試みられよ。 胃腸障害絶無カバーカバの 回形油の カプセルを廢した、

単で開催から

十六年春までに完了の豫定

施工の年

贈劃整理

2日中井直長) 十二部谷地源祭後十二日部守) 九日神谷 27一日前神出机 提 刑部課長會 歐領主演员助之女男川市興新 元祖〉 萬里德所 → 振琶田室京地上 - 八番朝鲜〉 萬里德所 → 松 布 一面 會朝鲜〉 京鄉府 古市町 十四番地三六



林璐技はこれら解職を木炭に利用がいけれる話である。なは石田山 間には二世本といふ形しい機器

打合會

疑問の使用で

「扁山」指導政修に伴ひ不受威急

馬山海水浴場崩き

日は京城雄劇本店から仮井氏を 印出場を述べて去る十一日、

脳道機能に関んである

ーチを受け、選手達は企上

西部後道に陸野、來る十九日の

何處も同じ夏枯れ期に

押すなくはチト迷惑

女殿廻し、野球部などは先日慶 各部長の非常な際と努力により 四世間的が生れ野球、医院とも

量泉」公設連制量が新設され起

【新山】院は週間第二日十二日は一

麗山衛生映諧會

されてあるとは断報の通りだが、

|干高面を投じ昨年度から質励||さめた料料が二百五十回、郷金が

十ヶ年記に事業とし

即決策の御紀介にたったもののお

一帯の大砂切工事は「本年一月か、大月末までに溝「器」(大郎)洛東江沿岸「穏る領甲駅人も馬鹿にはなられ、

すばらしい砂防頓林の 利用につき研究

この砂研工事地に総裁する前本は一四十六国といる国軍収入を器げて

会記 干六百

ヤマハンノ木、

だ、クスギモの他 ある

ケ年近に二十萬本を数へ十ケ年

早害對策

草南縣背易と右脳木を利用する工

職合館を開催し会員を記録に記事館
工作のの確認できて各面具態に認事館
工作のの確認できて各面具態に認事館

一三時間に五百尾の水揚げ

統營の業者大當り

職業制を測定のため近く派遣する 首せを行つた、よつて雨解では關 開始製造局地につき出版を重ね打

項を試験した

勋、整理资金融通、部落共同时 (指不事項)食糧元實、副業獎

清州署の科料

二千直を突破

【養言】益に総済事山陽西菜組合 組合配を管配してこの方面に全力が益めての試みとして調整雑試験を注ぎ、現在では七数の運動が配が起かった結果、意外の対して、三種間の作業である。

宿医に設定する一方臓血薬の如一 他来会話を中心とする延伸し且つ一般 であんだ。 歴史の 不確に 全力を注いであたが、 歴史の 不能であれます。

資金開催した。自力更生の製

龍岡南師を招聴、甲乙二班に分ち

心田開發講演 (第1)

取扱の敗は五月末から未満の求職しられてある状態である

庶民階級のなに

舊馬山の不正貯蓄組合に

最後のメスを揮ふ

影励すべきものと思ふ

署警務主任から釜山場に8

れた都男山壁里無数の資館を絞る 量に東喰ふこれ等機翻形乱住容が、東、馬山) 影響の既としてもて爺さって、その開城住職かれたが、東

月以陸首員の数回に国る艦隊により

しても利用したいといふ見地から するだけでなく一般杯産加工物と

【個州】未付有の早門に封策を課

歴州郡で開く

賀十二萬國を支出する郭詡川忠明 | 行した、朝朝各部落接興館では部部薬費、地元真墳金等を含せて事 | 分額夏をさせ去る七日起ご式を懸 均築工事は地元住民の利益を博は一落民趣動員して群た労銀の中維利 **清朔] 図』、近近地方振興王木 すため、附近人部落の振興顔に部** 當局の温い親心に 地元民感涙に咽ぶ

に採はれた菅島の野野を設計した。日本の野野をお聞して同工事的員

【清州】恐るべき順属忠治が忠北

對策に腐心

忠北のレプラ

百名を超え

【就意】小型校では十一日午町十 統管校の海開き

その教護施設しなく後等の唯一無 衛生質局の調査の結果物明したが にも百十八名もあることが最近世

一の急天地である小屋島の更生融

恢築。『は既年増加する一方であるだけでも六ケ年を要するのでその 外しか彼れず、現在の即裔を被るにも数容を取の職職で無年す名内

学する脳部上部らに心を煩らせて 心向ではあるが何分多大の経費を 角局でも何等かの妙楽を跳じたい

忠北署長會議

八月上旬開く

後各郷農館の引つ躍りだこで発置 授手をして生命四条第に活躍して りと被害質問を終つた生徒は卒業 いはれるくらの理想個に出来て 一 秧指導、水間代作 夏休み 學生で賑ふ

西所の選奨証用を祀てから据れ」一分を満らして来た西所の選契制は「領鮮の整業に勝一等ること」なり機能 別名の軽弾生を出し半勝四一柱ともに似むで占められる児やマ

る場所が同事試験温女子互挙書

業の壁動指導に多大の貢献をして

闘省を急く若々しい歴史が資を見 刻の入世連絡船から夏見休暇で 開散となった他山壁橋は十一日 章山一昨今院繁期で旅客の往来 釜山の桟橋

おることとなり機能は望らしいが 配備して心臓する若人達の輸送に である、連首船は早くも関時間を きら男女宗生が多く智分の間は来 せはじめ、十二日朝は何んと聖客 **売八十名を彩せて入街。内地行**



総業型家を經過用場することが不一め出題しよく管下四個共同聴致的、母苗族く他身、際になの足には趙、質も眺るよく加よるに副保護のためるが、これ等技事の監察脈線は「好調を減し近年稀に實作で終に認いるが、これ等技事の監察脈線は「好調を減し近年稀に實作で終に認い 能である質情に要な、除此間所

大小天狗の鮒釣り『愛浦ッスケッチ

は、11 は、11 である。 12 と聞き上し、15 の好成都で早般によっろ労労が、成果な合も開催の容に、15 です。 15 です。 16 廣州の春蠶 出廻り良好 る変作不良の折柄影家を尋ばせて 見入百十八百四十五次二千三百十 で明節した出題り敷置だけでも雪 通取引:萬八百八十八世六百分三

石酸婦と なり自活の 途を辿つて

終工後大将八月上旬間間にされる 別長前職は、本月下旬の郡子前職【清州】本年宅例の郡北道内野祭

一とは幼にして個概を失ひ、身寄り

-- 漢字の乙女命副領さんこして下された方がらる」といふので

ましい肺第一學中、語母の如くやさしく訓育し

生といって存つて統合普通保存在

「馬山野通恩校に対中しか」。近年

のものとてもなく統督西温を校

女の解析を訴べた歯、村中女史は

確つかり踏みます水原蠶講の生徒さん

汗みごろの大奮鬪

炎天下に自轉車のお稽古

清州に脇チフス

[清州] 西内大成町に脚チフス思

かしに彼女を誘ひ、馬山のさる良

柳(三)という思問施屋は親切こ みたが、

実際に目をつけた

金漢 卒業後は、健知に山臓場に立つて

一た上に自宅に引取り御蔵を加へて

當時その慈毋のやうなやさしい

り十三国の問題料を支掘ってやつ いたく問例して我子のやらに労は 主人は娘を同伴して村中先生に成

※に世話するとて去る八日 場山に れ来り、午東調キリン食祭に供

はかりたので、主人解氏が周山 びませ開旋料五回と盆型八回、 へもない彼女はたど途方に遅れ 十三回を結束、身に一銭とての

状盤に備って

頭背に金銭生徒の思路と登録を 現の他で今回の内鮮融和の師弟 級の他で今回の内鮮融和の師弟

馬山の催し二つ海、浴場開き記憶の下は

午前十時大新町運動地にて入地決定した、第一旦、廿二日

十二日午前十時期め、左のスコーロー日午前十時期め、左のスコーの所が取合すとの野球取合 金泉野球戦

||価金優にわたり夏明豪胆器質励||行せられた、終つて折核の謝潮に

既校生徒二千旅省参列し最続に続

字歌胎尹以下各面總代、有志、各

金泉體協生る

が郷比な海崩さの火蓋を切り小石

長物採取等を行ひ大眼ひであった 場山中學の健児を初め各學校生徒

各選手勇躍 連日猛練習

大田郡守以下敷は郷門武で管内しい十二日から二十一日まで十日

ルたが

で地は

飛雪個所に

節つる

一覧式器に

於て

領す神世祭司の下に

明さは十一月十後一時二十分から の召獲を節も月の龍河水浴場の

(教育) 部の存動制で成績以中年|

郡守初め職員出動

統營で督剛に大童

以上の頃収で酸家は非常に存ん

贈賀王催のラデオ擔種の資金に【大郎】八月一日から『週刊版 日午期六時から約卅分開實施をが資準仕所内の各初等學校

Town Trees

司令国少時古世紀二氏は水る十四 の主なる人々を紹言アットホーム 日正子から選件産青素建上に営成

軍工服除

り肛門まで長さ二十センチ、 ラックの投機に飲かれて野情部

に加那段時の見地から傾向は主任ラブクの移職に襲かれて野野るされた京都等では観察派人変変態。職にかけて引き倒し、金永晴は

後十十一時半から非常召集を行ひの措施で演成譜版活動中、十一日 聖所の認めな難説を行ったところ 京城府場内に於ける一齊陸部脈に だがするところであったことが 足が制造を自動中に乗つて通行す 石は住所不定の李景とで水 。劉邦不能者を控撃収職べたとこ 元所で自興車を窃取し京城に

五人の不審者を極果した明確き解準取黜へ中その他に

たものである

大邱醫專

棉作懸念 天候不順が

思周旋屋には敗かれたが

愛の世がに甦る

に能から寄りはないかと添わると、男院認出がで見得に名めたが平後 武を公開した 南鮮に崇る

福明状態となり連合な匿な天派観 【・室山】 崩僻地方の昨今は全くの

温盗で活動 乗り逃げ男 外五名『嬰 三世の地へは大田分で苦分にの きであるが例年に比して領温も

班 1小圖之阿部3色川、下四班 1小圖之阿部3色川、下四班 1小圖之阿部3色川、下

| 大災町産総事作に組織|| かと、揺はれてある| 外五名 | 関の権作的に駆影響がありはせぬ 悪戯運轉の祟り 族はつせく機様なので折角成就

|戦トラックを自永宮||慢名||が迎||て、|りかくつたのをトラックの助||町大陸氏物||動車部原第七〇八〇||の:金町永藤(三)が国際庫に乗つ 【永豊浦】十月午後八時半頃近秋一郎し山印に松衲する際道林町八 自轉車乗りを引き倒し 重傷負はして殺す

1在2遠面3四間付金乙間1在2遠面3四間付金乙間

27.14.12日一朋老版《第四十三十四日侵回城 啓 —— 徐山二阳、徐山中是不 東宋高曹 —— 大邱高曹、晋州 式、後山郑二四粟 —— 大邱西 球南鮮豫選全國中等野

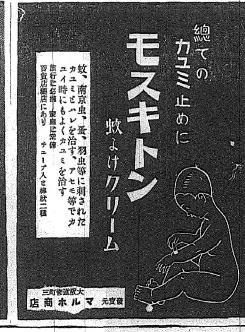
#L 觐 ット 映ど 高級 耐久力 安全刺 lt 刀











に指言込み懸念学宮を叩へたが 一重傷を買つたので直に永覚神像 たのは避暑者の子思で暴襲遊り 耐技を聴で触されたが一般からもの馬術大館は十二日午前十時から 三十七ンチの製傷藍に墨丸破裂 三十帰名の参加あり盛況裡に午後 一日午町大時死亡したなほ運輸し (天明) 南奥特門曼校馬斯部志 馬術大會 盛大に開く 歯の御手入れをお忘れない様に!健康は先づ歯から 新 時代の義歯は

養歯材でして質に理想的!黄金色より上品な白金色へ! 今や好評嘖々のサンプラチナ!! (韓軍省所管院院影觀所倒用) 三金曲科金屬合名會社

專盡物計

薄幸の教へ子を

お十一日午後二時から公散グラッンドで開始、十六對一で質気質血 大邱のラヂオ體操

後七時から月尾島遊園で開催

法主には赴任以来、郷治長と雅

【美山】 原内で「緑を含せて合語」 萬大丁 | 名の沙」 してのものできまに馬山港中村司【美山】 原内で「緑を含せて合語」 萬大丁 | 名の沙」 してのものできまに馬山港中村司

就職戦線の異状

十名に過ぎて奈引き八百八十二名

小県校職堂で鍼神各圏姫のビン【翻稿】來る廿六日の中曜日に |客盤では次朝河村氏宅で月別||大師]||小一日夜八時から大郎

家庭用 五十宗型 宮業用

との近端の各地深着も今後でに、これで戦災によっていたという。 とうだいでは、大きで、大きで、独し来に変現合させていたもので一般地会員の意では勿論。一方で世紀苦は愈と深刻化するに、の西工業方面の水人氏蛇と有腕である人と共に、四十有線のこれが開かて、大きで、国工会が変勢にある。 かと月へ行機の旅遊なも有腕である人と共に、四十有線のこれが開かるであるのがは絶を調けて、上、国に今年も所年の通り内地方。るが十月に入つてこの間向は金々、国会に強勢的一旁悔予解散を命えるで、今回この諸姓雄を選げ、一十、国に今年も所年の通り内地方。るが十月に入つてこの間向は金々、国会に強勢的一旁悔予解散を命えるで、ので一般地深着が考へ、ためでも既在直右れば関する。 かと月へ行機の旅遊なも有腕である 対して、第二天伝統師を来ない他名で一般地深着が考へ、ためでも既在直右れば明かを

1. 夏に今年を例年の遊り内地方。この北京方面の水人肚蛇と台館駅 本月 廿日蛇に、解 観子館をを迎った正地語古は忠上深刻化するに、の電工業方面の水人肚蛇と台館駅 本月 廿日蛇に、解 観子館をを迎った正地語古は忠上深刻化するに、の地方、さか七月に入つてこの地向は徐々 くと兆に、四十有端のこれで脚窓

所事務原査のため十二月来出場技能田中国一行六名は馬山 馬山」 慶應穀物檢查卷山吉

信行組合、相方組合、三五産業的成業組合、又類型済組合、某組合

ので同主任は遠に意を決し毎馬山

合その他数組合に對して最後の

大好評謝恩大賣出し

總代理店 諡 松 田 一 四九清 一 の 市 中 (カタログ進星)

電話本局_

一番氷が少く 番よく冷える

番店 製造元 **大東貿易冷蔵器工場** 大阪·朝

病谷農學博士監製

鄴

ヴィタミンB複合體の給源として自然物 中の隨一……しかも最も經濟的なるため

らしい事實が逐次闡明されたからに外なりません。 他の藥劑では一方に効力があつても他に副作用が伴ふのが常 であるが、これには其の副作用が全くないこと………等々の新 な天然の産物であること、 それは他の近代的薬劑のように化學的の合成品でなく一の大き 一劑で敷種の作用を棄れてをること

母乃至輸入酵母などの雑酵母でも足りると考へられ、かっる 麥酒酵母でなければならね…ことに確定されて居ります。製品が汎用されて居りました。然し今日では酵母劑は必らず 代に於ては酵母でさへあればなんでも良いとて安價な人造酵

ることが多數學者の研究で、 イタミンB複合體と各種酵素との協同作用にあ **競らすはその中に天然に含まれてゐる强力なヴ** 酵母劑を治療的に應用して顯著な藥効を 確實に實證された

酢母療法も時代と共に急激な進展を致しました。その初期時~からであります。 つまりヴィタミン □複合體を 濃厚に集積するものほど治療的價値が優秀でそ が薬用には殆んど應用されないのであります。 の含量の低いものは食料には向くかも知れない

このヴイタミンB合量の點になると。変酒酵母の獨斷場とい

した雑酵母は食用以外に多く利用價値を認められません。」糖蜜や澱粉など、自然にヴイタミンBの少ない原料から促成 中に酵母自體に吸着する作用があるからです。これに比べて その胚種中に自然に濃厚に含有するヴィタミンBを醸造工程 ひ得るのであります。それは麥酒工業に用ふる巨萬石の大婆

諸氏は酵母劑と言へば必らず混ぜ物のない純正の

麥酒酵母でなければならぬ。

それ には日本の大麥酒會社で、日本の原料から出來た新鮮にして活性のあるヱピオスが ばん信賴し得ると言ふことを認識されたからと存じます。 以上の事實がハツキリと理解された結果、全國の大病院を始め、 原度なて物質を水源労組します「薬物としての変活酵母」 著名なる臨床家

の寵妃です.

に於ける治療界 麥酒酵母は現代 脚氣劑として

大阪市東 鮗 er = T Ħ 株式會社田邊元三昭株式會社田邊元三昭 衞即式

東京市日本微區本町二丁 エピス・アテヒ・サッポロ・ニュオン要酒騰造元 商商會 店店社 先發した城大班

到してゐるが、第一般登山班は十

第一班のコース

日夜京城を出館した、社殿館を

小白山に登り期田里苗の城場

甲心とする各山の砂塩に入ること

になった。そのコースその他は次 の通り決定してゐる

第二班のコース

四部神(斑林山量中)

戦高原の

その日から三ヶ所あり、都合八

育機副の横元、統副に配し、本府

か、委はの領も勝つたので第一回(立藤部は移物県校に関する関邦制ですまで明領の座びに至らなかつた。明明されることに決定を見た、中

近く本府で協議

委員費は恵上來る二十日昭本府で一助の鼷賊脈に一般中節昼夜に到于

水上選手の

調子を

會當日最高潮

松澤コーチ自信を語る

十砂二、新井は二分九砂六特に十日には蝴蝶二百米

れは別に関ひをあたへる一般動によって数名と述を見たのせ

鮮空の連絡

下關に飛行場

要塞地域外の平地に

る。下部には三羽の島を彫門し

・噴水口は暗の上部五ヶ所あ

一ク月が へり々と衝闘、さつそく下極分に 办 ŋ

通りであるが、同戦党部で調査の 扇翼を受外に提供すべく努力中、 こんど服部報公園が同事業を費用 ので、頭破野影では更に複略なる **沿手してみるが**

力を都た同研究犯ではる無計 して四千国の調査が

ならず、規模の大なるとと、技術

壁間は年代 話いのみ

上町、田中、韓田三教授と国城寺総この下館分が終り次第来る十月報 像定で副直撮影を行る漢定である 総数が根据に赴いて、約二ヶ月の その結果は各方血から注目さ

所被害人○といる程度である一個人威北は協善一、拉去一九

一名の謎を追引する

一百卅一名に上り今年は新述八十七

公園に

境被害

城府方回委員と遺後の初願合せけ 一般に、暖かい手を伸べようと、京 問題階を認識をすることになった 龍山署活動

併しまだ手懸 りがない

ド階級救濟協議 属は大盤出来あがつた頃水塔)

再び部署に配いた、なほ同智に引

日路の生活を設けてみるカード階

兄城の新方面委員

近く初顔合せ

今年も夏水をまち各盟技能に影響|直島中郷古を行る 天で駆倒しの感況を続けてゐるが

数された答疑者、参考人は十三日



チフスは減じ

災天配きの対熱に愈上無染柄が組一やも不逞し各學校生徒見歌に對 を極め、今年は昨年の山テフス

出にず何の日子。可地城市のき、として当田山東る来 田多、に投金田西五十五氏一 藤瀬四十四、田山は敷田では



頁面側で非諸小脳山が近半行地子

對岸匪賊狩り

本信 短 婦及見習及女中採用

刊本二七三六 A 編 病 院 京城旭町一丁目

- 振音東京六九四〇四 自 小計

|最も同十、工場へ近け野辺殿の

式商業簿記

美 製 手及第子數名人製造 高城での第二人二大〇 原城での第三人二大〇 開 井

宋 貸 系三版券集町方面大部屋以上五十個屋腹立るでくり図の ある家町船山四三四番ぐ

教育の構光に作る中等教育の様元 「質素學校の新設計は、初等に加助の調整、産業政策に立

るが各所所に過し一月、十七 二十五日の衛生日には最終的世 を行び赤門隊防禦の服用を塡める

[編信を持つた、更に今月の新井百の新記録を出して優勝し得る

正と崩潰して四却、彼適中を東大国間を城北町へ配送中、九百八 只城西界町一三〇層宮際氏方雕/ (板(で)は十三日領域と三千四

『事非常に好調を示して『師は遊佐の阳酔と共三

時れ一時盛り

@月收金 二百圓 _外

は、 のきせぬ海の眺め っきせぬ海の眺め 五階の展望台 高病を治す ラヂウム温泉 ウチウム温泉 ウチウム温泉 ウヂウム温泉 ウギローニ室一泊式食・料共 自武岡五十銭至八回也) 温泉大ブール、バス及ハイン 泰営 温泉大ブール、バス及ハイン 泰営 経験型の



野場、加取・語南





十一米の大戦水塔を建設、月下 投じて、痛さ四米の噴水油、直便

間で完成の様定であ

西南側の小公園に約三十里を

ゆう

京城府では光化門通り交叉

しでも問ひを躓さうと言ふの

京城の頭に、

ばかりでなく、都市の防空施設

をなる。聞いたらばくで

所を吸収すると語ふのだから、 水による器気に能大な力で 空武湖に記録はれた時。 この戦 夏の潤ひと毒ガス隆退

完成する

着々進む一石二鳥 ※――

本間討伐隊が

|日間昭本部展司令部設表||本間討伐縣の市毛〇緒は川合〇は、矢島〇處と脳

九時間に及ぶ大激戰

れを東南方に流走せしめた、右龍跡において佐々木等ツ一帯兵(秋川縣出身)は壯純な最死を選げた、十自年前七時曲似、清兼縣域の門線附近に縁起する(殺自二十名の合流馳を攻戦、離職九時間の後、

「東京記断」内部航空路の要素を

決定するものと見られるが、

の所来だ現代に握してるない。

外の作曲に設いする方針である、 は下側市に設立定き所で要害地帯|原は二百萬回、二ケ年職は事業で 近地動を起してあるが、遊信省で

いて、脚級地方は何れも猛烈な話 かし下郷市外治末、百間附近が起 も有力と見られる、なほこれが誰 然地は十五四年と後がされ、埋工 変加から選手されるこ

【ベルリン十二日間風」 段表示上

・コーチ松原一朝氏は、

能つたとの自信について左の如く

新記録を 作つてゐるので

戸に八百圓

総発置なビラミッド形の頂を持つ 景色に心を簡はれつい数十日の飲 民虫 環郷に入った人もなく交話 頭路間に向ふ、この山は米だ無物 連君は一行に即れて函境終備の第 「問記録もない。かくて国境地帯の でつなける山脈に向ふ、併勝、根 十国では豫定の土地を購入し記な よって従来の一戸書り貸付六百六一不定館有項ですを厳観、闘べたと 本所が設村振興運動の徹底を持る一十三日夕、京城新貨町駅気景に装 によつて生する政府の利子権総金 通金の貸出率も低金利時代に作ふ 自作版則定は歴史土地の配上りに 明年度は一戸當り一

ころ、右犯行の外、今看來数十個 知らの額でボーイに確はれた住所

かめるわけである

之で資が山脈のアウトラインはつ一三日の屋足で窓日郷に金質、廿七

く利子の増加にあてる方針である の剥削を監察の貸付資金増制に非

等へ「若草映跡順温時五十五分京城消防

らなかつたところ、去る五日また に顕起となってるたが音として判 投資客の現金、現金顕和が報々と今春以来京城館前回一部の旅館で して盗まれ、観教者では犯人担記

> さては誰だの巫戯かと引あげた 川五世、新旗製長が沿海して出 西で知らして来た男の聲

百年

へこそとばかり消防自動

と服務部転赴り通るあに項のこ 〈 ゆ 隊 發先 他君護伊良郎 后山大坂 変先 めたの 帰設 ブンヤキ 日京 たし 数出を 収 京寺 一十 後午 日 二十 1 社 2 四 際、肌山畔、冠帖牌を設定する 迎終をとり、延岩に南の雲前、 してゐる田安島製部三年杉原和と 是で北、南南施路山、野田線、

れの的である。今夏は城大の他に 八月中旬の冠嬪峰は氐人のあこが

|神ハイカーに話題を提供し、一選一の扉を唱き、見るここの出来ない。||銀石はあるゾと、| 観々申込みが設計戦が呼ばれた。|

更に未踏の地ビラミツド型の頭霧峯へ

國境高山地帶も縦走する

兒童プールで 團體游泳訓練

はない模様であるが、まだ手がか

一般化と

植木醫院

武德會弓道

一日から十日間配日午後一時から配 五時まで西小門町号辺温に於て号 風が治る

驚く程良く効く療法

八半した経験性な人間的大阪の関係をは他の関係をは他の関係をは他の関係をは他の関係をは他の関係をは他の関係をは他の関係をは他の対象をは、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、一般には、

(安國西班通國際大學 (安國西班通國際大學

井に駆り停こ登画にて過載す 観境料金は削納の事但就職施 観境料金は削納の事但就職施 正式・観度名は一回毎に五十 ※ 京日案内

算物館の塩井醫院

大月中國境にかける艦艇出退によ 匪賊の出没で 一、拉去九、殿打四

行するが、現在迄の水死では一千 時半人道盤下水死者用強伸制で飲 漢江水難慰靈

人(昨年前期は廿六人)路テフス七月に入り十二日までに既に五十 **二一人(昨年同期は百十八名)で** 原領生質局では防疫に廃心してあ 流行に引かへ赤町の流行物度く ては改成な際に特に注意を嫌ふやう

滿浦鎭鐵道橋

進計問大數授校閱

竹田正巳著 第判二三〇夏上製華入美本

近く着工す

開門属の作材分配所の整点版巡行 行物によれば、十二 早 町大庫 山路は十三日茂山州に入る でより八里の地にある

煉炭をの

アンと出へ居

パーマール では、アールの では、アールのの では、アールの では、アールのの では、アールのの では、アールの では、アールの では、アールの では、アールの では、アールの では、アールのの では、

英語 中部科高等支統科會 間夜間)自一部北持電等機工機 本間三十九二 京柳茲 時一致一時一致一時



浩介が二度目に赤国家へ行つた して夏緒は、浩介で願るた。

窓じがありながら、 推開の細つそ 腰から下は三十近い成勝した女の 時も、出て來たのは色の白い枝せ一ませらい た女だつた。

に色々な版の影響が地く概上けら 時は、一寸奇異な感じがした。 る頭へかけての線には少女の句ひ一て、 部に案内されて行くと、部の片階 の残ってゐるのが二度目に逢った 此の家の主の出意らしい小屋框の 見遊べて、

『自飯単だと、これ皆んな積むの一つたが、買つた本を避して行くこ

。とた明朝から無難年に結つてる。陶泉服しなから十面棍を二枚職べ。『さらですか。では都新ですが…』素迷の男なのだらうかと考ってみぬじがありながら、無耐の潤つそ。清常は、三風趾は痛かるだらうと。「ちに ……。』 「惊ら、軽稽は、今の本盤は何んな殴から下は三十五い成熟した女の」を愛から取出一髪の上へ膨げて、「せんから、孔方の御都合のいゝや」と、彩き髪して行った祇片を彫め を関から取出し髪のよへ蹶げて、「せんから、貴方の御都合のいゝや肝草模様の緑色の大きな風呂戲」「私の方ちや砂しも密支へありま 『では、何卒……』と、黥籍に云一明日は間違ひなく。 「え」。折角ですから駆いて行き 生すから……。然しお宅さんの方 では? やらでしたら国タクで戯きに参り

…。 若し今日参られないやうでも た。だが結局者へても割らなかつ 业 と思ってみだりした。 ために、その鍵子で大丈夫なのか ら、一方では商人としての潜介の (京談近高陽郡××面響慶等内、

上に一杯に鑑がつた本と風音船を「登へもしたければ、本の名も全部」じゃうなことを考へてみるといつ「はちにと云ひなが望鏡は形骸の」みる文で、實際に何朋あるものか「合せたやうな草窟に戴いて、略同 が全部頃で入つてゐる跳でもなか 大阪六十冊見當と見込みを付けて一な様へと、大人と子供の體を鑑ぎ 合せたやうか夏治に就いて、略同 た。消介も師る途々等国家の立蔵

一数シー・分割べて取さませらよ に答を揉む立塁に置かれてしまつ

本紙一萬號記念懸實小說二等當選

整羅原上演奏編

介に息荷は人と人との心意館のび つたりした清純な瞬間をかんじ行 「なあに……」と云つて立上る浩 同七時五五分日の内放送 リエルヒビユエールフネ作 ||*|、組曲 ンダリスと学 ガブ フローランシユミ 小西 童直

第二年 收藏 整江 中七紅 收藏 整江 中七紅 收藏 整江 中 医城 道雄 第二年 收藏 整江 计建 選げたのか又如何なる随題のもの| が如何にして經營されてゐるのか「 が産業上如何に重要であるかく取り へるのである。然らば半島の水産

私しや見たいぞだる主の踊り

足になくても手のをどり

月の兎は何見て晒る 盆の追頭を見て腕る

甘茶上げませら花まつり

絃

(哲手入り)五、川岡かか 三、あさぎぞめ ツー、夕立の コー・タ立の コー・ター・

二月) 里海林太郎

二作曲)作奏ALラデオアンサ 柳学の質(岛崎麗村作詞大中寅

国 (勝五〇分 (大) 野球淑会質児 ス・気をきる・・・ 機能に必能無校 西本 社三 同九胜川〇分 (東) 時報 芸術 | 同三時 | 五分 | 御生器領 (明節群 | 方くのニュース・レコード音楽 | 同三時 | 三十 | 二、(東連報を担) | 南子 | 二 | 二、(東連報・電 | 地方(のニュース・東東連報・電 | 地方(のニュース・東東連報・電 | 地方(のニュース・東東連報・電 | 地方(のニュース・レコード音楽 ス・気寒巡報・翌日の番組(地 ス・気寒巡報・翌日の番組(地 方へのニニース・レコード音楽 方似

9110891

同六時二〇分(東)コドキの新聞 四、はすのお胎(合唱) 横田 英子 一學年生徒 同六時三〇分 マンドリン合奏 M 元 和

十五日き、物

|正午(東)時報 日用品間段観点 同六時五五分(東)カレントトピー 宗/本川地上本門寺より中郷世投げ千五百石 | 京山 天風 同六時五五分(東)カレントトピー 宗/本川地上本門寺より中郷世投げ千五百石 | 京山 天風 同六時五五分(東)カレントトピー | 宗/本川地上本門寺より中郷世投げ千五百石 | 京山 大風 同六時五五分(東) 南(東) 「京/本川地上本門寺より中郷世 関土の総資を見渡さら密はない。 | 旬の味ひ方作り方(七) 夏の民業と停染病について同一の時三の分(大)家庭護座 版大破技 医松博士 产

こ」と何か考へてゐたが、

「では、その方も若し直に決まる一

常・金田の一番の一番である。

(11)

ここうですね。 もう一般題る家が一

分け方

同九時(東) 御生/キー同九時(東) 御生/キー同九時(東) 御生/キー同九時(東) 御生/キー同九時(東) 御生/キー同九時(東) 御生/キー同九時(東) 御生/キー同九時(東) 御生/キー

同七時 今日の天祭見込 御(二) 伊藤 道神 衛(二) 伊藤 道神 御(二) 伊藤 道神 同八辞 孟嗣鉱管法要=昭山本原

一、夕強小姚 (曜) 一、盆をどり歌(合唱)

同六時三〇分(東)延旋佛語派座午前八時(東)ラデオ顕領

丸山順太郎

第一放送 火曜日で 十四日番組

をれ故作戦に大海狂はやを起し、 一角、八一病に一角のでは、同年、八一年、同年、八一年、同年、八一年、同年、同年、同年、同年、同年成 大 一 日本こでは方なく (同全との歌) 一覧のは一番の申聞きも立つまい。 次の六一馬も大きな過失、そのしたものである なる法(二) 松水 正雄 (東) お湯 水泳か上手に (東) お湯 水泳か上手に 同八時三〇分長男 (東) 舞台園 御所 (東) 舞台園 御所 都 国之助外

中村君の八五雄のところは、八四歩なら八三郎と思いので已むを得ないところである 金易二郎 常談講座午色後 伸び行く

▽六一角成(4分) ▼同 玉 ▽八三泉故(3分)

が、そのため家職に狂ひを住じ、本局を抱着さればの治量服子の芸問の近り減年の交換は居主のた。 芸問の近り減年の交換は居主のた。 芸問の近り減年の交換は居主のた。 大田での宝人は形勢を混戦模様に 唯一の宝人は形勢を混戦模様に 唯一の宝人は形勢を混戦模様に 唯一の宝人は形勢を混戦模様に なるしたない。 あるが、斯様に我国が水産王國と 第二、第三の蘇國や米國などは日 本の十分の一内外に過ぎないので 我國の水産物量漁塩高は世界道医 高の学を占めて世界第一位に在り 朝鮮の水産 水產最長四本計二

えいでも遠方ですわ . 」

王

銀步步步

▽ | 六角 (6分)

大二层 (拉女)

▼八五桂(公分)

「挂碗」 ▽総木氏 角根

▼同 金

金(52分)

殿は九三世迄の局面

平青安 四段 マ中 (中村氏三回題三人目

『遠方を云ひますと?』

「よう」で預額の家ならば

给時間各七時間 消費時間

三年へれ ちゃ、これは西方お持

觀

戰

(五)

ての作戦九三年に残れたところま

中村四段の失態

好潮にめでまれた鈴木四段敵の一落してし

してしほつたものだらう

双 記

語

を合せたもの上三倍にも近くなつ の二圏を占めて他の外地の生産級 供給並に對外貿易の伸膨に甚大な てゐるのであつて國民保健全量の の帝國總生産領五國八十五百萬國 **運** 龍谷高女生徒 午後六時—

曲

ふり設む書は我等の姿 100° 100

5,00

(1) み山に部かにちら、 二、清けきさま

方共の生産観を鮮内の他の観角を貢献を貸してゐるばかりでなく一

盆をごり歌

位にあるのであつて朝鮮の水産業 あり壁底、音底、画産より造かに上 集と断比すると林鹿と略々同別で一

証いれんげで細葉を作り

彼院歴におだんご添へて

傷の子供になりませう

上げては交打ちおろす

われが仕家はかくれざと、鑑

ぐ舟のゆれ心地な波と男政が打

內山衛堂網口宝衛等月曲

6. 106

四、はすのお船四、はすのお船 なかそ述そ、はすの花式そ

五、きれいな心 白いはすの花、白い帆を上げた (3) み室に美しひら、ひら、 (2) み字に高くさら、さら、

旦耀跳校间人詞 野河成仁曲

足あげて提近く風の削なる羽づ くろひ、温むくしよしあしの いやおやくはららのうち頭膜

午後九時

一、夕立の晴れて原しや白鷺の片

枯草口の枯草は 六、枯草山の焼の子供になりませう 枯草山のお地蔵さんは お地域ながめてみるさらな 枯草山の 渡臺干秋詞 艺院或恋曲

がえ。

面日やこれを思へばやつこらサ が三昧ひく思がうたふ小うたの

程点おもはく近角にのせて、

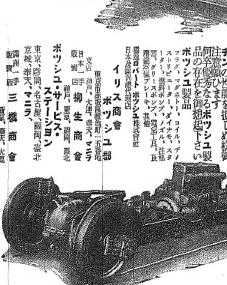


四、都島、ながれについく。温館の 三、淡菱ぞめくしもとの白地にし れる気か よる(人風のボラぶれ、なみの

五、川風についさそはれて成み船 すだれの風の音に、洩れてきこ もんくもどうかくぜつして解な ゆるしのび駒、するな世界に原 綾面わみづ柄く、ことろすみだ

る月の中を流ると墨出川

性能を損じぬ標準での高價なるエン





そばかす・しみを防ぎ 日焦けを清掃する

ひ アミラーゼ (含水炭素分解 美愛に電要なダイタミンや、 用ワラプ悪泉クリームには世 ってソバカス、ショを防ぎ見 **経脂肪を禁理的に分解します** 素)によって皮膚の異釈色素 解茶)リベーゼ (脂肪分解的 食有するトリプシン(磁白分 許の膵臓酵素が配合され、そ 温に於て薬理作用をする薬質 に日焦けを清掃いなします。

非常に効果的です/本クラブ乳液も同様にないは日焦けトリには に効果的です!

許勝勝爾 倍の効力を持額力を持つと共 は、従来の女性キルモンの五 許による主成分の現態ホルモ ンを綜合した設置なものです モンに脳下垂体削薬ネルモン ルモンは其の主成分の形態本 ラフ化粧料に配合された綜合 のある被刺さした肌に岩返ら 皮膚から吸收されて内臓や法 関ホルモン、植物性総合ホル 弛みを防ぎ こ同様に小数や地類を防ぎ薬 綜合ホルモン 肌を若返らす 含少是少女会给加强

、すかはそ、け焦日・政界の客覧の み池、数るす因起にれつや夏や、みし 素酵碾降 ハンモルホ合綜はにぐ防を こをムーリク身美プラク用要るす有を無特質等二の 。すまり削を肌のすら知夏くし美く若ノいき下用愛

1,50a